国分寺市教育委員会議事録 - 第8号

会議の種類 第7回国分寺市教育委員会定例会
会議の日時 令和6年7月25日(木) 午前9時30分
会議の場所 国分寺市立教育センター 2階 203・204号室

会議の出席者

(教育委員会)

教育長	古 屋 真 宏
教育長職務代理者	大 木 桃 代
委 員	辻 亜希子
委 員	藤 井 健 志
委 員	武 内 彰

(説明員)

教育部長	日 高 久 善
教育総務課長	廣 瀬 喜 朗
学務課長	村 上 航
学校指導課長	高 橋 美 香
学校教育担当課長	關 友 矩
指導主事	渡 辺 大 輔
指導主事	稲 村 望
指導主事	柴 田 慈
社会教育課長	諸 橋 広 光
ふるさと文化財課長	新 出 尚 三
市史編さん室長	依 田 亮 一
公民館課長兼本多公民館長	本 多 美 子
図書館課長兼本多図書館長	有 賀 真由美

選定資料作成委員会委員長 後 藤 正 彦

調査研究委員会(中学校)委員長(国語)

戸 田 恵 介

調査研究委員会(中学校)委員長(社会)

八 木 義 人

調査研究委員会(中学校)委員長(数学)

榎 本 圭 志

調査研究委員会(中学校)委員長(理科)

高 橋 優 子

調査研究委員会(中学校)委員長(技術・家庭)

松 崎 豊

調査研究委員会(中学校)委員長(音楽)兼

調査研究委員会(中学校)委員長(特別の教科 道徳)

野 口 大 介

調査研究委員会（中学校）委員長（保体）兼
調査研究委員会（中学校）委員長（美術）

田 中 一 郎

調査研究委員会（中学校）委員長（外国語）

植 木 淳

（事務局）

書 記

保 谷 裕 子

書 記

人 見 杏 平

書 記

山 口 徹

傍聴人 23人

〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長は開会を宣言し、署名委員として2番藤井委員、3番武内委員を指名した。

〔前会議事録の承認〕

・令和6年5月23日開催の令和6年第5回国分寺市教育委員会定例会議事録第6号

〔教育長等の報告〕

教育長 おはようございます。本日もお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

市立小・中学校も7月19日に1学期の終業式を迎え、夏季休業となりました。今年は猛暑で、また、昨日には突然の雷雨があったように、不安定な天候が続いています。子どもたちには熱中症や水の事故等に十分に気をつけながら、実り多き夏休みにしてほしいと願っています。

〔議事〕

1 議案第40号 専決処分の承認について<教育長提出>

(議案の内容と説明)

国分寺市コミュニティ・スクール協議会規則(平成25年教委規則第5号)第4条第1項の規定により、令和6年7月17日までに委員の任命を行う必要があり、専決処分したものである。

学校教育担当課長 議案の裏面を御覧ください。このたび国分寺市立第一小学校で新たに1名がコミュニティ・スクール協議会委員に追加となっています。参考資料を御覧ください。新たに1名委員を委嘱することで全6名となります。

御審議のほど、よろしく申し上げます。

(意見・質疑の要旨)

教育長 第一小学校のコミュニティ・スクール協議会の委員の追加、任命ですね。

学校教育担当課長 そのようになります。

(採決)

原案どおり承認(全員一致)

〔協議〕

なし

〔報告〕

1 第3次国分寺市教育ビジョンの策定に向けた検討状況について

(事務局からの説明)

教育総務課長 資料 No. 1 を御覧ください。これまでも報告をしてきました第3次国分寺市教育ビジョンの策定についてですが、策定検討委員会での検討作業が一定程度進み、今年度の第1四半期に、教育分野の関係団体等からのヒアリングも実施しましたので、本日、

報告するものです。

項番1 計画の位置付けです。策定作業中の第3次教育ビジョンは、第2次教育ビジョンと同様、教育基本法に基づく地方公共団体の教育振興基本計画として位置付けた法定計画です。他の関連計画等も含めた位置付けについては、図で示す内容を確認いただきたいと思えます。

続いて、項番2 計画の期間です。第2次教育ビジョンの計画期間は5年ですが、第3次教育ビジョンの計画期間に関しては、特段に法の定め等はありませんので、総合ビジョンの計画期間と同様、令和7年度から令和14年度までの8年間の計画期間としています。

次に項番3 第3次国分寺市教育ビジョンの体系案等についてです。①基本理念については、教育委員会の教育目標として大切に引き継がれている3つの柱を基に、それぞれの力を持った市民の育成に努めることとします。

そして、②目指す学びのまちの姿については、新型コロナウイルス感染症の拡大や、混沌とした世界情勢などを受け、予測困難で不確実な時代を生き抜くことに不安を感じている子どもたちの思いなどを昨年度実施したアンケート調査の中で感じ取ることができました。これらを踏まえ、幸せなまちの未来を描きながら、地域市民が学びを通じて自らの手で切り開いていくということを考えて、より多くの地域市民が深い学びを通じてつながりを持つことで、地域コミュニティの形成とともに、それぞれが地域の学びを支える作り手にもなっていき、さらにそれらの学びが地域の中で循環することで、より豊かさが感じられるまちが創造されることを目指して、3ページ上段の『誰もが幸せな未来を描くまち、人と人がつながるまち、学びが循環するまち 国分寺』を目指す学びのまちの姿とします。

次に、③体系案ですが、4ページから7ページまでの体系(案)も併せて御覧ください。第2次教育ビジョンと同様、目指す学びのまちの姿の実現に向けて、ⅠからⅣまでの4つの方向性を掲げ、その下に施策の方向性、取組の柱、そして主要施策をそれぞれ位置づけています。ⅠからⅣの大きな4つの方向性における第2次教育ビジョンとの体系上の主な相違点について、簡単に説明します。

第2次教育ビジョンの方向性Ⅰに位置付けた主要施策、特別支援教育の充実や不登校児童・生徒への支援の充実など、これら子ども一人ひとりの個性を伸ばす施策の方向性を、第3次教育ビジョンでは、資料5ページの新方向性Ⅱ「すべての子どもたちが輝く教育の充実」の中に教員の指導力、対応力の向上等に関する各々の主要施策とともに取り込んで整理しました。

また、資料6ページ、新方向性Ⅲ「共につながり、学び続けるまちの創造」の社会教育分野の方向性の中に、コミュニティ・スクールや新規施策として位置付けられる「国分寺学」などの学校、家庭、地域が連携すべき各主要施策を位置付けて整理しています。資料7ページの新方向性Ⅳ「文化財の保護と次世代への継承」の中の施策の方向性項番3「市民共有の地域史資料を未来へ継承します」を追加し、新たな市史編さん事業の取組を位置付けています。

次に3ページの項番4 関係団体等ヒアリングの実施ですが、記載のとおり、教育委員会の附属機関を含めて、教育分野の関係団体等からのヒアリングを実施し、次期計画の体系案などについて意見を頂戴しました。意見の概要は、資料の8・9ページで各体系別に整理してお示ししていますので、恐縮ですが、内容はお読み取りいただきたいと思えます。

最後に10ページ、今後のスケジュールです。今後、所要の手続を経て、10月中旬には

パブリック・コメントを実施し、年明けの2月に計画策定を見込んでいます。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理人 関係団体のヒアリングの中で小・中学校PTA連合会から意見を伺ったと記していますが、このP連は先日解散されたと同っています。ヒアリングは解散前に実施されたものなのかということが1点と、当時もP連に加盟していない小・中学校が幾つかあったと思いますが、そちらのヒアリングはされたのでしょうか。あるいはされていない場合には、今後どのように意見をお伺いするつもりなのか説明をお願いします。

教育総務課長 ヒアリングは今年度当初の4月、P連が解散する前に実施しています。委員がおっしゃったようにP連に未加入の学校もあります。こちらについては今後パブリック・コメントや説明会等も実施しますので、その中で総合的に意見を伺い、保護者の意見もしっかりと聞いていきたいと考えています。

大木教育長職務代理人 今後のパブリック・コメントの中で、市民の意見も頂戴できると思いますし、そこで併せてP連に加盟していない小・中学校の保護者からも意見をいただけることを確認しました。保護者も非常に高い関心を持っていると思いますし、ぜひ丁寧に幅広く市民からの意見を伺って、必要なものに関しては反映をしていただきたいと思います。

教育長 本日は検討状況を報告しましたので、また一定程度まとまったところで改めて報告したいと思います。

2 ひかりプラザ地下駐車場消防設備について

(事務局からの説明)

社会教育課長 ひかりプラザの地下駐車場消防設備について口頭で報告します。

ひかりプラザの地下駐車場に設置している消防設備には泡消化設備が備わっています。その泡消火設備に使用されている泡消火剤に有機フッ素化合物が含まれている可能性があり、このたび成分分析検査を行いました。その結果が7月17日に判明して、有機フッ素化合物が含まれていることが分かりました。現在、安全な泡消火剤の入替えのために予備費等の充用の手続を進めています。引き続き入替え作業を速やかに進めていきます。

報告は以上です。

(意見・質疑の要旨)

教育長 調査結果が出たので、大至急入替え作業を進められるように手続をお願いします。

3 「第四次子ども読書活動推進計画」アンケート・団体ヒアリングの結果について

(事務局からの説明)

図書館課長兼本多図書館長 資料 No. 3-1 を御覧ください。まずアンケート結果を説明します。この資料は小学校2校、中学校2校の全学年で行ったアンケートを取りまとめたものです。項目は6項目ありますが、それぞれの説明箇所でお伝えしたいと思います。

調査の目的は、市内の児童・生徒の学校及び生活における読書活動の状況、図書館の利用の状況を把握し、計画策定の基礎資料とするものです。調査概要は記載のとおりですので、お読み取りいただきたいと思います。

配布数・回答率ですが、配布数は全体で2,824人。回答数は2,183人。回答率は77.3%

となっています。

続いて、回答内容です。項番 1 児童・生徒の読書の現状では、子ども読書の計画策定の上で初めて不読率を取り上げています。国や都の計画では、不読率の低減、改善を取り上げている状況があり、それに倣い、今回調査項目として取り上げています。不読率は、令和 4 年度の国の平均と比較し、小学生・中学生ともに低くなっている状況が見られます。

続いて、2 ページ、項番 2 児童・生徒の読書活動推進の関わり方です。読書活動を推進するためには、読書習慣だけでなく、自ら活動に関わることも大切であると考えており、その状況を把握するものです。小学校における活動では、おすすめ本を紹介するポップやポスターづくりが行われている状況が見られ、高学年以上となるとビブリオバトルや小学校や幼稚園への読み聞かせ活動が行われていました。

3 ページは図書館からの情報発信についてです。図書館からの情報がどの程度行き届いているのか、その状況について把握しました。ホームページもエックスも、いずれの学年でもあまり見られていませんでした。また図書館課から発信してもらいたい情報は資料後段のとおりですので、お読み取りいただきたいと思います。

4 ページは電子図書館の活用です。効果的な読書支援や学習支援のため、電子図書館の活用の状況を把握しました。

5 ページの電子図書館で本を読みたいかについては、「はい」、「いいえ」の割合がそれぞれ約 50% で、読まない理由として、紙のほうを読んだ気がする、紙のほうの方が分かりやすいなど、紙のよさを挙げる意見が挙げられました。

続いて、児童・生徒の関心事についてです。多くの児童は図書の時間が好きと回答しています。いろいろなことを知ることができる、想像を楽しめるなどの意見がありました。

6 ページの学校図書館でやってみたいイベントについては、上級生が下級生に本を薦める、おすすめ本を読み合う、交換するなど、児童同士のやりとりの中で直接本を手にするような提案がありました。

中学生からは図書の貸出を増やす提案や、図書の選書への参加などが挙げられています。

7 ページでは図書館ボランティア事業への関心をうかがえました。

8 ページの図書館への要望についてです。本を大切にする思いや、資料の充実、楽しく利用しやすい図書館とするための意見が寄せられています。また、特別支援学級の児童・生徒からは、図書館利用に関する意見がありました。

アンケートに関する説明は以上です。

続いて、資料 No. 3-2 の団体ヒアリングの結果について報告します。ヒアリングの目的は、計画策定に当たり、学校関係者、子育て関係者や団体等を対象に、読書活動の状況や、よりよい読書活動への意見、要望等の意見聴取を行い、計画の基礎資料とするものです。実施団体、実施期間は記載のとおりです。

続いて、項番 2 ヒアリング結果について説明します。6 つの項目についてお伝えします。

(1) 児童・生徒の読書啓発や活動の状況については、小・中学校や高等学校では、おすすめ本の紹介・展示、ビブリオバトル、夏休み読書月間を設定し、読書活動に積極的に取り組んでいる状況が見受けられました。

(2) 学校図書館における読書活動については、小学校では読書週間に学校栄養士と学校司書が連携し、給食中に映像を流すコラボ献立の企画・運営などを行い、また良書について児童に勧める状況も見られました。中学校では図書の利用促進のために新入生へのオ

リエンテーションや図書委員の企画イベントが行われています。高等学校では、授業との連携を考慮した展示、おすすめ本の紹介、図書だよりの作成、文化祭での古本市など活発に活動されている状況でした。

(3) 電子図書館については、調べ学習での活用や、教員向けの使い方講座への要望や、国語の授業の際、クラスで一斉に教科書で紹介されている本が読めるとよいなどの意見を頂戴しています。

(4) 配慮を必要とする子どもたちの読書環境については、授業の導入や図書館の使い方説明時に読み聞かせを行っており、また、「りんごの棚」の充実が求められています。

(5) 図書館の活用については、団体への読み聞かせの出前や、託児サービス、団体貸出はあまり知られていない、図書の汚破損等の理由で学級文庫を借りていないといった状況などがあり、一方、季節に合わせた団体貸出しがあるなど、図書館を活用していただくために必要な意見を頂戴しています。その他、図書館サービスの利用への要望などがありました。

報告は以上です。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理者 小・中学生のアンケートによると、不読率が、特に中学生は国全体に比べると非常に低くなっていますので、中学校での取組、さらに小学校時代からの読書習慣が反映されているのだろうとうれしく拝見しました。ただ、平均読書量はむしろ市のほうが少なくなっています。この差について何か検討はされたのでしょうか。

図書館課長兼本多図書館長 国の調査と市の調査では規模が異なるため、母数の関係で読書の冊数に影響が出ているのではないかと考えています。

大木教育長職務代理者 母数が違うと平均読書量の差が出るという意味がよく分かりません。例えば国のサンプリングで、たまたま読書に非常に力を入れている市などが積極的に選ばれていたのなら分かるのですが、無作為に抽出した場合にはそのような差は生じにくいのではないかと思います。

図書館課長兼本多図書館長 国の調査に関して、どこから抽出したか詳細については把握していません。結論として、このような結果となったと理解いただければと思います。

教育長 アンケート結果として出したのだが、そこをどう分析するかはアンケートを実施した担当課でもう少し詳細に考えていただかないと困ります。よろしくお願いします。

大木教育長職務代理者 私の申し上げたかったことはそのようなことです。

あとアンケート調査結果の5ページで、電子図書館で本を読みたいかということで、全学年とも「はい」「いいえ」の割合が半分ずつですが、「いいえ」の理由しか書かれていません。「はい」の理由についてもしっかりと分析していただきますと、それが電子図書館の推進の一助となると思います。電子図書館のほうがよいという児童・生徒と、それから紙のほうがよいという児童・生徒がいるのは当然ですので、両方ともに推進していけるように、「はい」を選んだ児童・生徒の分析も進めていただければと思います。

その下の(5)児童・生徒の関心事の自由記述で、「読書のための補助器具がある」という意見は非常に重要だと思いました。読みに困難のある児童・生徒にとっては、このような器具があることが読書を進める1つのサポートになると思いますし、学校図書館だけではなく市の図書館ですので、児童・生徒だけでなく、市民にとっても非常に大切な点だと思います。ぜひ今後も必要に応じて速やかに、丁寧に対処を進めていただければと思います。

す。

図書館課長兼本多図書館長 補助器具は、図書館課で少しずつそろえています。読書をするのに不都合や支障のある方への対応については、適切に進めていきたいと思います。

教育長 そのあたりの充実についても、今後この計画の中にぜひ位置付けていただけたらと思います。そのような視点でお考えください。

辻委員 今回、小・中学校への調査、それから関係団体へのヒアリング、いずれもある程度の規模で実施されていると思いますので、この結果を推進計画に十分生かしていただきたいと思うのですが、実際、今後子ども読書活動推進計画を策定していくに当たって、アンケート結果、ヒアリング結果はどのように取り込まれていくのでしょうか。

図書館課長兼本多図書館長 全体的なところではありますが、現在、子ども読書活動推進の課題になっていることを受け止め、どう対応していくか、いろいろな要望もありますので、それが読書活動推進に生かせるものであれば、どんどん取り込んでいく形で対応していきたいと考えています。

辻委員 具体的にこのようなアンケート結果があったのでこのように取り入れましたとか、関係団体からの声があったので、課題として受け止めて変えますとか、そのように具体的に推進計画に反映される予定ですか。

図書館課長兼本多図書館長 委員の指摘、意見は、実際にこのような指摘や意見があり、このように反映したという形にすることだと捉えています。それについては、今後の計画策定の方法をしっかりと検討していきたいと思います。

教育長 意見をいただきましたので、それを反映するのは当然のことだと思います。それをどのような視点で反映するのかを、ぜひ読書活動推進計画を作成する委員会で検討いただけたらと思います。

本日はアンケート調査の結果と、ヒアリングの結果を報告しましたので、また骨子等が固まりましたら改めて、報告したいと思います。よろしくお願いします。

それではここで説明員の入替えのために、暫時休憩とします。

(休憩 午前10時00分～午前10時07分)

〔議事〕

1 議案第41号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について<教育長提出>

教育長 それでは会議を再開します。日程第7議事に移らせていただきます。

(議案の内容と説明)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号の規定により、教育委員会で決定する必要がある。

渡辺指導主事 市立学校における教科用図書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律及び同無償措置に関する法律、同施行令、同施行規則に即し、行います。今回は中学校の通常の学級で使用する教科用図書について採択替えを行います。

まずは採択までの流れについて説明します。

5月2日から5月17日まで各中学校で学習指導要領の目標及び国分寺市が示す2つの調査観点である「内容」及び「構成上の工夫」を基に調査を行いました。

次に5月22日から6月14日の間に各中学校の調査報告書等を参考にしながら、教科ご

とに教科用図書調査研究委員会を開催し、送付された見本本全てについて調査研究をしました。

そして7月2日に教科用図書選定資料作成委員会を開催し、全教科書について、令和7年度使用教科用図書調査研究委員会報告書及び教科用図書見本本市内教科書展示会で寄せられた市民アンケート結果等を資料として協議を行いました。協議における観点は、「A 内容」、「B 構成上の工夫」の2観点とし、総合検討結果を「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、「国分寺市で使用するのに適当である」、「国分寺市で使用するのに適当とは言えない」の3段階で示しました。

次に、市民アンケート結果の概要を報告します。市民アンケートは、教育センター及び本多公民館、恋ヶ窪公民館、もとまち公民館の3つの公民館で、6月5日から6月27日まで行った法定展示会及び市内展示会でいただいたものです。総数は51件で、各教科の内容や表記に関する意見等をいただきました。これらの市民アンケートについては、事前に写しを委員の皆様にお渡ししています。

教育長 中学校教科用図書の採択に当たり、これまで各中学校や調査研究委員会、さらには選定資料作成委員会で様々な研究、協議が行われてきました。本日はその内容を報告します。また、市民からも多くのアンケートによる意見をいただいています。これらの資料等を参考にして、教育委員一人ひとりの考えをしっかりと踏まえて、教育委員会が責任を持って採択を行います。

それでは、5月2日開催の教育委員会定例会で承認された要項に従って、審議を行います。選定資料作成委員会委員長から報告をいただきますが、本日は各教科の調査研究委員会委員長も来ています。教育委員の皆様には報告に引き続き、意見あるいは質問等もお願いしたいと思います。

(1) 国語 (国語)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 「令和7年度使用教科用図書選定資料作成委員会報告書」の国語(国語)を御覧ください。4番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の三省堂、3番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに東京書籍です。よい点として、「未来を考えるための9つのテーマ」が設定され、国語の学習とこれからを生きる力とのつながりが意識できることが挙げられました。課題として、古典分野の作品及び解説の量が多く、生徒にとって負担が大きく理解しづらいことが挙げられました。

続いて、三省堂です。よい点として、生徒にとってなじみ深い方の歌などを教材として積極的に取り入れていることです。一方、課題として、どの学年でも冒頭に共通して「思考の方法」を挙げられているチャートの種類が多く、チャートの種類や使い方を学ぶという誤解を生みかねないことが挙げられました。

続いて、教育出版です。よい点として、「文法の小窓」や「学びナビ」など日常につなげて学習を進めることができ、内容を理解しやすくなっています。一方、全体的にすっきりとし過ぎているような印象があり、文字が細かく色使いが全体的に薄く見づらさがあるとといった課題が挙げられました。

最後に光村図書出版です。時代に即したテーマの教材の工夫や、「語彙ブック」や国語の

スキルをまとめた資料が付されており、作文の際に大いに活用できるなどのよさが挙げられました。また、各教材に学習の流れを示す「学びへの扉」が付されていて、生徒に見通しを持たせやすいことが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

教育長 光村図書出版のところで「1ページ当たりの情報量がやや多い」と書かれています。国分寺市の生徒の実態を捉えたときに、このあたりの情報量について生徒の負担になるのかどうか、あるいはそれを乗り越えて国分寺市の子どもたちがしっかりとそれを活用できるのかといったところはいかがでしょうか。

調査研究委員会委員長(国語) 学習指導要領の内容を大変細かく網羅しているところが光村図書出版には見られ、少し情報量が多いのではないかと感じましたが、国分寺市の生徒、国分寺市の教員の力ならば、力をつけさせることは可能だと考えています。

教育長 ここがやや課題として扱われていますが、それを乗り越えて活用できる力があると受け止めたいと思います。

藤井委員 私は普段予備校で国語を教えていて、現代文と小論文が担当であり、興味深く拝見しました。課題が挙げられた東京書籍について、光村図書出版以外に東京書籍もよいと思ったのが、古典分野の作品がああぐらいの分量ですと、個人的な感覚ですが、高校生になって大学受験を意識し、文法や単語などテクニカルなものを意識して読まなければいけなくなる前の中学生ぐらいのときに、もっとシンプルな形で古典に触れ合う機会があったほうがよいのかという意味で、むしろ古典分野が巻末の付録も含め、あれだけ充実しているのはポジティブに感じました。今、中学校の現場での古典の指導に関しては、文法的なものや単語的なものなど、生徒あるいは指導者にとっても古典が多いと負担は大きいのでしょうか。

調査研究委員会委員長(国語) 授業の時間も限られていますので、文法的なことや細かい語彙の説明など、そこまではなかなか指導する時間がありません。東京書籍は特に解説の部分がとても多く、そこが少し生徒にとっては負担になるのではないかと感じました。

教育長 それでは、それぞれの委員の皆様がお考えになった推薦したい教科書について、発言いただけたらと思います。

大木教育長職務代理者 最初にお礼を申し上げたいと思います。いずれの教科書も、各出版社や執筆者の方々が子どもたちの豊かな学びと健やかな成長、そして将来の幸せのために本当に心を込めて作成してくださったことを実感しながら選定しました。いずれも学習指導要領を十分踏まえて作成され、優れた教科書ですので、選定には非常に悩んだことも多かったと思います。また、市民の皆様からも多くの意見を頂戴し、将来を担う子どもたちへの市民の思いを実感しながら、全てしっかりと拝見しました。改めて感謝申し上げます。

国語ですが、いずれの教科書も多角的に考える教材も多く、生徒の視野を広げることができるように工夫されていました。全ての教科書を拝見しているうちに、いずれも文章に引き込まれて読んでしまうような、よい課題文章を選択されていたと思います。

非常に迷いましたが、光村図書出版を推薦したいと思います。理由として、第1点に、「学習の見通しを持つ」のページで、1年間での学習内容と知識、技能、思考力、判断力、表現力の中でどのような力を身につけるか明確に示されている点。第2点に「思考の地図」で様々な思考方法が紹介されており、考え方の基礎をイメージしやすい点。第3点

に読む教材の後の学びへの扉で見通しを持つ、捉える、読み深める、考えを持つ、振り返るという一連の流れと、それぞれの内容が示されており、生徒にとっても何をどのように学習していけばよいか分かりやすい点。そして、この一連の流れで主体的、対話的で深い学びの実現に向けて学習を進めることができる点。第4点に、書く、話す、聞くの教材では、目標の後、集める、整理する、組み立てる、伝え合う、共有する、生かすという流れ、あるいは聞き方や書き方など何をどうするのかを具体例も含めて分かりやすく書いてあり、生徒が学習する上で参考になる。特にスピーチの仕方について紙の素材を変化させたりしてより工夫されている点。第5点に、「学びのかぎ」でより学習のポイントがつかめるだけでなく、さらに他の教科への応用や今後の発展につなげることができる点。第6点に、「語彙ブック」や資料が充実しており、表現の参考になる点。以上の6点から光村図書出版を推薦します。

辻委員 私もどの出版社の教科書を拝見しても、それぞれすばらしさがある、力の籠もった編集だと感じました。その中でも国語については、大木教育長職務代理者同様、光村図書出版を推薦したいと思います。

理由として、文学作品は、散文も詩も、いわゆる定番と言われるような教材が取り上げられていて、ぜひ国分寺市の生徒たちに読んでもらいたいと思えるものが多く載っていると思いました。また、先ほど話題にも出ました古典分野ですが、苦手意識を持つ生徒がいるのではないかとこのことをどうしても懸念してしまいます。その点から見ますと、2色刷りで分かりやすい説明を心がけているところは好感が持てると思いました。また、第3学年だったと思うのですが、つながる古典というページで現代の文学のジャンルとつながっているような流れも示されていて、これも古典が全く自分と切り離された外国語のようなものではなく、現代文学とつながっていることを知るのにも役立つと思いました。

また、全体的に挿絵や写真が美しい点も見落とせないと思います。自然や四季を意識したもので、これらが詩や説明と合わさることで、日本語の美しさを味わうことにもつながると思いました。

最後に、「本の世界を広げよう」で読書の紹介をしていますが、興味を引くような内容の紹介の仕方ですべて生徒が関心を高めやすいと思いました。

藤井委員 先生方が教科書で教えるという側面と、生徒が自分で教科書を学ぶという側面の両方から見て、東京書籍の古典の多さを私は買っていたのですが、説明をお伺いし、教材の分かりやすさを見ても光村図書出版を推薦したいと思います。時代を越えた普遍性の高い文章と、現代的な文章との全体のバランスもよく、あとは自分で教科書を学び直してみようとしたときに、この分野が苦手だからこういった文章を読んでみようという使い方で、生徒が主体的に使いやすい教材としても光村図書出版がよいと考え、推薦します。

武内委員 初めての採択ということで1冊に絞ってきたわけではありません。私は全ての出版社を見て、光村図書出版と三省堂を推薦するつもりで調査をしてきました。光村図書出版は、大木教育長職務代理者と全く同じで、学習の見通しを持てることと、教材といわゆる3観点との対比がしっかりとしていることを理由としています。三省堂は、学習目的が明確であること、それとともにグループディスカッション、レポート、スピーチといった言語活動につなげて学習を展開しようとしているところを評価しました。

教育長 多くの方が光村図書出版とのことですが、私も1つに選ぶならば、光村図書出版で、皆様と意見は同様です。特に科学センターの開講式で今年度講演いただいた京都大学の元学長、山極先生の著書なども載ってしまっていて、非常に子どもたちも関心があるのかと

感じたところです。

それでは、国語については4番、光村図書出版『国語』を採択することに決定しました。

(2) 国語 (書写)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 書写については2番の三省堂、4番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、3番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに東京書籍です。よい点として基本点画の解説で、トン、スー、ピタなどの擬音を用いており、生徒がイメージしやすい表現となっていて、分かりやすいことが挙げられました。課題としては硬筆の書き込みができるページが少ないところです。

続いて、三省堂です。よい点として、どのお手本についても毛筆から硬筆への学習の流れが明確で一貫していて、まず毛筆で全体の字の形をつかんでから、硬筆でそれを身につけていくというつくりとなっています。これは学習理解につながりやすいと挙げられています。また、単元の授業全体の中で現在の授業が何回目でどのような内容なのかがインデックスで明示されていて、学習のつながりを意識しやすい構成となっています。

続いて、教育出版です。よい点として、レイアウトが分かりやすく読みやすいところが挙げられました。一方で課題として、判が大きく教科書を開いて机に置くときに、すずりや筆置きなどがあることから、机上が狭くなり使いにくいということが挙げられています。

続いて、光村図書出版です。よい点として、漫画やコラムの内容の充実に加えて、親しみやすいイラストや写真が多く使われていることなど、生徒の興味関心を高めるような工夫がされていることが挙げられました。また、「書き初めマスターブック」や「書写ブック」など附属資料が充実していて、生徒が学びやすく、教師も教えやすいことがよさとして挙げられています。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 私は書写については、三省堂を推薦したいと考えています。理由は情報量が適切で見やすいと考えたこと、また、調査報告でも指摘があるとおり、インデックスがついていることで、学習のつながりを意識しやすく取り組みやすいのではないかと考えたことです。

また、示されているお手本など、課題になる文章が中学生に親しみがあるものが取り上げられていて、生徒が取り組みやすいのではないかと考えました。

藤井委員 書写についても、どれも魅力的な教科書でしたが、私は先ほどに続き、書写も光村図書出版を推薦したいと思います。理由は2点あります。まず、コラム記事ですが、ユニバーサルデザインフォントってなんだろうというように、生徒が文字について、より広い視点から考えていくヒントが含まれている点。もう1点は、別冊の「書写ブック」が非常に使いやすさを感じましたので、光村図書出版を推薦したいと思います。

武内委員 こちらも1冊に絞っていないのですが、東京書籍と光村図書出版の2つを選ぶつもりで調査しました。基本的には子どもたちが実際に筆等で書く場合、大きめの図示がされ、とめ、はねなども分かりやすく、どう組み立てていくか学びやすいと判断しました。

大木教育長職務代理者 私は光村図書出版を推薦したいと思います。理由として、1点目に、筆圧と線の太さを1、2、3と数字で示していて生徒が理解しやすいこと。2点目に、

毎回の最初の目標で、その授業の目的を明確にできること。また、「学びのかぎ」で具体的な留意点を意識できること。3点目に、考えよう、確かめよう、生かそうという順に記載されていて、実際に書く上で生徒が理解しやすいこと。4点目に、具体的な場面で必要とされる工夫を意識させていて、日常に役立つ書式も充実している点。5点目に、国語との関連が非常に意識できる構成になっている点。6点目に、「書写ブック」が様々な内容から構成され、充実している点。以上の点から生徒が学ぶ上でも、また、先生方が指導される上でも適切ではないかと思いました。

教育長 私も光村図書出版を推薦したいと思います。特に自分らしい文字というページがありました。著名人の方々の本当にその人ならではの文字が描かれていて、非常に味わいがあると感じました。そのようなものを通して、子どもたちも自分の文字に自信をつけてほしいと感じたところです。

それでは、多くの方が推薦されましたので、光村図書出版を採択したいと思いますが、辻委員、よろしいでしょうか。

辻委員 結構です。

教育長 それでは、書写については4番、光村図書出版『中学書写』を採択することに決定しました。

(3) 社会(地理)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 それでは社会科、地理的分野の報告から始めます。3番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の教育出版、4番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

まずは東京書籍について報告します。よい点として、全体的な色使いや二次元コードが表示されているなど、生徒のICT活用の意識を高めるような資料の工夫がされていることが挙げられました。また、随所に地球的課題について、生徒に考えさせる箇所が取り入れられていることもよい点として挙げられました。一方で、解説資料の文字が全般的に小さいことが課題として挙げられました。

続いて、教育出版です。よい点として、グラフや地図の読み取りなど、基本的な知識や技能の習得がしやすいよう配慮されていることが挙げられました。また、持続可能な社会の実現に向けての特設ページがあり、様々な問題がSDGsなどの課題につながるという点が示され、学びを深めやすい内容となっていることが挙げられました。一方、課題として、全体的な配色が少し暗くて読みづらい箇所があることや、単元の導入写真が小さく見づらい点が挙げられました。

続いて、帝国書院です。よい点として、地図や写真、図表等が充実しており、生徒の多面的、多角的な思考を促すことができることが挙げられました。また、アクティブ地理のように、授業の中で生徒が自然と課題解決的な学習を進められるような構成になっていることが挙げられました。

続いて、日本文教出版です。よい点として、グラフが読み取りやすいよう配慮されていることや、各章のまとめが楽しく学習を振り返ることができる内容となっていて、生徒の興味関心を引きやすいという意見が挙げられました。一方、課題として地図、写真、雨温図などの資料が生徒にとって見づらいものもあり、活用しづらいことが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

藤井委員 私は、地理的分野に関しては、帝国書院を推薦したいと考えました。巻頭のSDGsの紹介はなぜ地理を学ぶかに通じると思いますが、その後もスタートの段階で、どう学ぶかという部分についても、非常に誘導がうまくできていたと思います。この後の歴史的分野も併せて、うまく空間的に、時間的に、自己の存在を相対化しながら学んでいく構成が非常にたけているように考えましたので、帝国書院を推薦したいと思います。

武内委員 単元で分けて社会科トータルで採択の判断をしてしまいました。よって、地理、歴史、公民、地図を通して帝国書院を選びました。トータルで資料が充実していること、それから評価の3観点に基づいた生徒自身の振り返り等ができ、いわゆる少し探究的な学びにもつながっているようなところで、総合的に見て帝国書院を推薦します。

大木教育長職務代理人 私も帝国書院を推薦したいと思います。理由として、1点目に、最初の地理的分野の学習の全体像、地理的な見方、考え方が分かりやすく、地理学習の位置づけを理解してから学習できる点。2点目に、SDGsを意識し、これに関連した資料や課題が特に充実している点。3点目に、各節あるいは章末の「学習を振り返ろう」で、知識、思考力、判断力、表現力を伸ばす課題が示され、より積極的に幅広く学習を深めることができる点。4点目に、「技能をみがく」のコーナーで、統計資料や地図の読み取り、使い方など、更に深い技能を学ぶことができる点。5点目に、地図や写真が非常にクリアできれいで見やすい点。以上の点から帝国書院を推薦したいと思います。

辻委員 私も帝国書院を推薦します。理由は先ほどの発言にもありましたが、「技能をみがく」という視点が全体に行き渡っていて、グラフの読み取り方などをはじめ、生徒たちが地理的分野で自分の技能を磨いていくことを大切にしているところがよいと思いました。それから全体的に取り上げている写真や図が的確だと思いましたし、説明の文章も分かりやすいと思いました。

教育長 私もどの教科書も本当に工夫されていると思うわけですが、特に帝国書院、中でもアクティブ地理としてハザードマップを使用し、避難先を考える学習などは体系的な学習ができるのかなと感じました。避難を考える学習を通して社会科だけではなく、それをどう日常に生かしていくかということも大いに学んでほしいと感じたところです。

それでは、社会科の地理的分野については3番、帝国書院『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』を採択することに決定しました。

(4) 社会（歴史）

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 社会科の歴史的分野の報告をします。候補となる会社は9社あります。1番の東京書籍、3番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版、4番の山川出版社、5番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」、6番の自由社、7番の育鵬社、8番の学び舎、9番の令和書籍が「国分寺市で使用するのに適当とは言えない」としました。

まず東京書籍です。よい点として、文章が分かりやすく因果関係を重視した具体的な表現で、発達の段階に適した内容であることや、小単元の「チェック&トライ」で、各自で学習に取り組めるような工夫がされている点が挙げられました。また、「みんなでチャレンジ」という箇所、歴史的な見方、考え方を生かした対話的な学習と多面的な見方を促すことができる点も挙げられました。

続いて、教育出版です。よい点として、当時のまちの様子分かる資料が掲載され、生徒が興味関心を持ちやすく、学習の見通しを持たせやすい内容となっていることが挙げられました。一方で課題として、章末の歴史を探ろうというところは非常に詳細であるものの、高校以上の学習内容が含まれ、少し難しいのではないかとということが挙げられました。

続いて、帝国書院です。よい点として文章表現が平易で、随所に出てくる登場人物が課題を投げかける形式が非常に分かりやすく、発達の段階にも適した内容であることが挙げられました。また、タイムトラベルというところでは、当時の状況が大きく分かりやすく示され、各時代を概観し、特色がつかみやすくなっていることが挙げられました。

続いて、山川出版社です。よい点として、発問が多く、思考力を高めるような工夫がなされている点がありました。一方で、取り上げられている内容や資料が高度で少し難しく、時代を体感しにくいことが挙げられました。

続いて、日本文教出版です。よい点として、視覚的に分かりやすい資料が多いことや、各ページに出来事をまとめた年表があり、時代の流れをつかみやすいことが挙げられました。課題として、資料と文章のところに空白が多く、発展的な内容についても、若干情報量が少ないことが挙げられました。

続いて、自由社です。章の導入において、小学校との関連が図られているものの、日本の立場中心の記述が多く、多面的な考察が不足していることや、各単元の学習課題や振り返りの工夫があまり見られないという課題が挙げられました。

続いて、育鵬社です。「ズームイン」や「ターニングポイント」で生徒の関心を高める工夫はあるものの、その時代の日本を現代の価値観から肯定する立場の記述が多く、多面的に学ぶ際に課題があることや、登場人物の名前が男の子、女の子という表記で示されており、性的少数者への配慮が不足している点が課題として挙げられました。

続いて、学び舎です。よい点として、資料が非常に豊富であることが挙げられた一方で、課題として、生徒にとって写真や絵の内容が若干刺激的であることや、四大文明など一種の社会的常識になっている内容が大きく扱われていない点が挙げられました。

最後に令和書籍です。古代と近代に比重が置かれ、中・近世や海外の歴史の動きがあまり大きく扱われていないなど、比重が置かれている部分に偏りがあることや、構成が縦書き・上下二段組みとなっていることから、中学生の教科用図書として扱いづらいことが課題に挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

教育長 1つ質問があります。山川出版社は資料が大変充実していると思いましたが、若干文字が小さく、難易度が高いのかと感じました。ただ、このぐらいは国分寺市の生徒であれば、それを乗り越えて学ぶ価値は十分にあるのかと思います。さらにこの教科書を十分に使い込んでいけば、高校に行っても全く心配がないかと思ったのですが、その点については、いかがでしょうか。

調査研究委員会委員長(社会) 中学校の教科書では挙がっていない単語や歴史的人物が挙がっていることや、太字になっていても難しい単語や登場人物があることから、少し難易度が高いのではないかと判断しました。

教育長 国分寺市の子どもでも難易度が高いと感じられたのですね。分かりました。

それでは武内委員から、総合的に御覧になられたということですが、もし付け加え等があったらお願いします。

武内委員 あえてトータルで申し上げたことと別のことを申し上げるとすれば、帝国書院が1つの時代を俯瞰して見られるような投げかけや、生徒同士の対話を促すような投げかけがあるといったところを評価します。

大木教育長職務代理者 私は東京書籍を推薦したいと思います。理由として、1点目に、各単元が見開きでまとまっていて、学習の区切りがよく分かりやすい点。2点目に、右のページの縦に年表で扱っている時代の位置を示して、下に「チェック」や「トライ」があるので、生徒がポイントを理解しやすい点。3点目に、章の最初に探究課題を提示しているので、学習の目標が分かりやすい点。4点目に、探究のステップは、各節の課題を解決し、文章で表現するようになっており、その後に章の最初に提示された探究課題に答える形式となっていて、学習活動が構造化されていて分かりやすい点。5点目に、各章末のまとめの活動が充実している点。6点目に、章の最初と最後に「みんなでチャレンジ」という箇所、個人活動とグループ活動が具体的に示され、有効で対話的な学びが実現できるようになっている点。以上のことから東京書籍を推薦します。

辻委員 私は帝国書院を推薦します。本文を見ると非常に説明が分かりやすく、量やその内容から見ても過不足なく的確だと思いました。本文の周りに配置されている写真や図表も分かりやすく、資料性が高い点もよいと思いました。全体的に生徒が興味関心を持ったり、考察したりするのにふさわしい資料や地図が取り上げられている印象を受けましたので、帝国書院を推薦します。

藤井委員 私も先ほどの武内委員と同じで、地理、歴史、公民、地図帳の資料と、全体のバランスで帝国書院と考えたのですが、大学受験に関わっていると、歴史分野では山川出版社が非常に気に入り、特に高校生から大学生に向けた地歴科が総合科目になってきているということで、山川出版社はそのあたりにつながっていく点で非常によくできていると思って見たのですが、その視点のまま帝国書院を見ても、そのあたりは非常に配慮された形になっていると考えました。その他、様々な工夫で、タイムトラベルというところに非常に感心しました。江戸時代は馬や籠で移動していたのが、近代に入るとバス、電車が走っているという形で、各時代を俯瞰するような図式が入り、自分の時代と比較、相対化しながら非常に捕まえやすい、時間的な相対が非常にしやすくなっている。実はドキドキしながら、自分の子ども時代がタイムトラベルに入っていたらどうしようと思って慌てて確認して、戦後までは出ていないから、まだ歴史の世界ではなかったと思いながら見たのですが、非常に生徒たちが知的にも感覚的にも歴史や地理を捉えやすいかなと考えましたので、地理的分野に続いて、歴史的分野に対しても帝国書院を推薦したいと思います。

教育長 帝国書院を推薦される方が多いかと思いますが、私は先ほど質問しましたが、山川出版社に非常に興味があって使いたいという思いはあるのですが、ただ学びやすさを考えると、帝国書院になるのかと思います。今、お話があったタイムトラベルや、コラムの地域史などの人物に関するものは大変興味を高める意味で参考になると思った次第です。日本文教出版には、武蔵国分寺のイラストが掲載されています。これは国の史跡指定を抱える本市としては、非常に大切にしなければいけないのかと思いましたが、私も帝国書院を推薦したいと思います。

それでは、意見として多かったので、帝国書院を採択したいと思います。大木教育長職務代理者、よろしいでしょうか。

大木教育長職務代理者 結構です。

教育長 それでは、社会科の歴史的分野については3番、帝国書院『社会科 中学生の歴

史『日本の歩みと世界の動き』を採択することに決定しました。

(5) 社会（公民）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 公民的分野の報告をします。全部で6社あります。3番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の教育出版、4番の日本文教出版社が「国分寺市で使用するのに適当である」、5番の自由社、6番の育鵬社が「国分寺市で使用するのに適当とは言えない」としました。

まずは東京書籍です。よい点として、社会的な見方、考え方を働かせたり、対話的な学びをしたりするコーナーが充実し、生徒が主体的に学習に取り組みやすいことが挙げられました。一方で、課題として資料解説の文字が小さいことが挙げられています。

続いて、教育出版です。よい点として「TRY」というコーナーで実社会でも起こるような事例が多く紹介されていて、生徒が社会的な見方、考え方を働かせて学習しやすい内容となっている点が挙げられました。一方で、課題として、こちらも文字が小さく、全体的に見づらい箇所が多い点が挙げられました。

続いて、帝国書院です。よい点として、章の導入で実社会をイメージしたイラストが掲載されており、興味関心を持ちやすく、学習全体の見通しを持ちやすい内容となっていることが挙げられました。また「18歳への準備」というところで、クラウドファンディング、家計簿アプリなど、今日的な題材が選ばれていて、主権者教育に関する内容が充実している点や、「アクティブ公民」というところで、ディスカッションや企画書、ロールプレイなど、生徒が主体的に取り組みやすい工夫がされている点も挙げられています。

続いて、日本文教出版です。よい点として、SDGsやLGBTなど、現代社会で多く取り上げられる内容が記載されていることや、「チャレンジ公民」というところで、実社会につながるテーマが設定されていて、生徒が主体的に学び、社会参画する意識が高まる内容となっていることが挙げられました。一方、資料の大きさに対して、文字が小さくやや使いづらいことが課題として挙げられています。

続いて、自由社です。昨今の問題が多く取り上げられ、学びを深めやすい内容となっているという意見が挙げられました。一方で、課題として歴史的な解説が多く、多面的に考えたり疑問を持たせたりする内容が少ないこと、文字量が多くて、余白部分も小さく、見やすさが考慮されていないのではないかという点が挙げられていました。

続いて、育鵬社です。よい点として他国の憲法が紹介されていて、日本との比較がしやすいという面も挙りましたが、歴史的な解説を重視し、少し主張が強い部分があり、なぜそうなっているかなど疑問を持たせたり、多面的に考えたりする内容が少ないことが課題として挙げられています。

（意見・質疑の要旨）

大木教育長職務代理人 私は東京書籍を推薦したいと思います。理由として、1点目に、歴史と同様、単元がまとまっていて、学習の区切りがよく分かりやすい点。2点目に、各章の最初の導入の活動が自分たちで考えられるような内容で、生徒の意欲が湧くのではないかと考えた点。3点目に、下に「チェック」や「トライ」があり、生徒がポイントを理解しやすい点。4点目に、章末のまとめの活動が充実し、対話的な学びが実現できるよう工夫されている点。5点目に、18歳のステップで公民の授業を将来への見通しと関連づけ

て生徒に意識させている点。最後に私が最も東京書籍を推薦したい理由として、意見が分かれるテーマについて、両論併記のスタンスが明確である点。そこが最も推薦する点です。

辻委員 私は帝国書院を推薦します。1ページ当たりの情報量がやや多い気もしましたが、新しい話題や意見が分かれるテーマも満遍なく取り上げていて、生徒に広い視点を提供してくれると思いました。それから、人権や憲法についての説明も過不足なく取り上げられていると感じました。

資料にもありますが、章の導入で実社会をイメージしたイラストから入っているのも分かりやすくてよいと思います。さらにアクティブ公民というコーナーや、公民プラスというコラムで取り上げている内容も実社会に即していて、生徒がディスカッションしやすい内容になっているので、学びが深まると思います。巻末に日本国憲法以外の様々な法律が載っているのもよいと思いました。

藤井委員 先ほど申し上げましたが、公民も併せて、帝国書院を推薦したいと思います。地理、歴史と併せると、先ほど紹介したように絵を使用し、45年前、私が子どもの頃の時代と今を比べる形で、現代社会の小学校の子ども数が減っていたり、公衆電話の数が減っていたり、個人商店がなくなってコンビニになっていたりというような形で自分が住んでいる世界を見せたり、あとは憲法を学ぶ前にも現在のまちの様子が出てきて、その中から憲法に関わる問題を探してみようという形で、自分が生きている現代社会と結びつけながら、課題意識を持って学んでいけます。何より地理や歴史を合わせながら、体系的に学んでいく上で、そこがそろっているのは非常にメリットが大きいのではないかと思います。帝国書院を推薦しようと思います。

武内委員 冒頭に申し上げたことに加えて、帝国書院ですが、アクティブ公民といった欄で、現代社会の課題について基礎的な知識に基づいて考えさせる、あるいは、生徒のより主体的な取組につなげていくような配置になっているところを評価します。

教育長 私は東京書籍を推薦したいと思います。大木教育長職務代理者から話がありましたように18歳へのステップというところでは、主権者意識や社会への参画意識などが高まる工夫がされていると思いましたし、学習の進め方などは本当に至れり尽くせりだと思いました。ここまでやるのかというぐらい丁寧に編集されていることがよく分かりました。また、現代的な課題を自分のこととして考える工夫などや、様々な分野にまたがって示されているところもよいと思います。1時間の流れが本当に分かりやすくレイアウトされていて、そんなデザイン性もよいと思いました。ただ3名の方が帝国書院ということですので、この場では帝国書院ということを確認したいと思います。大木教育長職務代理者、よろしいでしょうか。

大木教育長職務代理者 結構です。

教育長 それでは、社会科の公民的分野については3番、帝国書院『社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して』を採択することに決定しました。

(6) 社会 (地図)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 地図の報告をします。2番の帝国書院が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに東京書籍です。よい点として、「Bee's eye」というマークで、地図の読

み取りのポイントが分かりやすく示されているところや、学習に使える視点や問いが各ページに掲載されていて、家庭学習や知識の定着を図る上で使いやすい点が挙げられました。一方で、課題として地図の見やすさというところでは、少し土地の入り組んでいる箇所の文字が見つらい点が挙げられました。

続いて、帝国書院です。よい点として、資料が豊富に掲載されていて、授業で活用できる場面が多いという意見が挙げられました。また、記号、図形、挿絵、写真などが分かりやすく、見やすい色で印刷されていることや、地域ごとのインデックスがつけられていることなどから、生徒にとって扱いやすく、課題について調べやすい点も挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 私は帝国書院を推薦します。地図そのものを見比べたときに、東京書籍ももちろん見劣りするわけではないのですが、比べてみると、帝国書院の地図が色や活字など見やすいと感じました。地図帳ですので、地図が見やすい点は重視したいと考えます。

また、資料のページで取り上げられているデータも授業中に使いやすいそうであり、かつ、興味のある生徒が1人で見るとにもよいものが幾つも挙げられていると思いました。そして後半の統計のページで示されている項目も豊富で、分かりやすくよいと思いました。

藤井委員 先ほど申し上げたとおりで、地図帳についても帝国書院を推薦します。東京書籍も使いやすいと思いますが、私自身の人生で見ても、中学時代にいただいた地図帳をその後もずっと持ち続けるという点で、中学校を卒業した後も自分で自主的に使う教材、あるいは資料として十分な出来だと思えます。よって、帝国書院を推薦します。

武内委員 帝国書院を推薦します。地図の見やすさ、そして情報量の多さ、あとは、本質ではないかもしれませんが、SDGsとのつながりを考えさせるような資料が入っている点を評価します。

大木教育長職務代理者 私も帝国書院を推薦します。理由として、1点目に、地図として見たときの情報量が適切で見やすい点。2点目に、色合いにおいても様々な色分けが明確で分かりやすい点。3点目に、単に地図というだけでなく、資料としての学習課題や「地図で発見」などのコーナーで適切な問いかけがなされていて、学びを深めることができる点。以上から、帝国書院を推薦します。

教育長 私も帝国書院を推薦します。本当に色が鮮明で分かりやすいと感じましたし、これまで見慣れているからというものもあるのですが、見やすさ、分かりやすさという部分は大切だと思います。

それでは、全員の総意で、地図については、2番、帝国書院『中学校社会科地図』を採択することに決定しました。

(7) 数学

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 1番の東京書籍、5番の新興出版社啓林館が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、3番の学校図書、4番の教育出版、6番の数研出版、7番の日本文教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」、2番の大日本図書が「国分寺市で使用するのに適当とは言えない」としてしました。

初めに、東京書籍について報告します。報告書のとおり、優れている点が多くあります

が、特に二次元コードによるデジタルコンテンツが充実している点が意見として多く挙げられていました。ページをめくっていただくと、どの学年の教科書でも二次元コードの位置がページ右下に配置され、見やすく、数も多いことが分かるかと思います。

続いて、大日本図書です。よい点として、「社会にリンク」など、生徒の知的好奇心を刺激する読み物が多数掲載されている点が挙げられています。一方で課題として、本教科書が令和2年度3月の検定を受けた教科書になっているため、二次元コードが極端に少ないです。それにより、生徒1人1台のタブレットを用いて学習する現在の学習の流れには少し適していないという意見も挙げられていました。

続いて、学校図書です。目次を御覧ください。よい点として、ゆったりとした構成で分かりやすくハイライトされていて、重要な式や文が読み取りやすいことが挙げられていました。一方、課題として、思考のヒントとなる登場人物のせりふが非常に多く、長い部分もあり、生徒の自由な思考を制限してしまうように感じられたという点も挙げられました。

続いて、教育出版です。よい点として、章の扉で、数学に関わる事象を取り上げ、生徒が学ぶことの必要性を感じられることが挙げられます。また、章ごとに色が分かれていて、ポイントが分かりやすい一方で、全て太字で表されているので、ラインマーカーを引かせるなどの配慮が少し必要であるとの課題が挙げられました。

続いて、新興出版社啓林館です。よい点として、ページの下部に二次元コードが載っていて、関連する内容を生徒がすぐに確認できるように工夫されている点が挙げられました。また、演習問題では、基本、応用、「力をつけよう」では入試問題と、段階に応じた教材があり、発達段階に応じた問題構成となっている点が挙げられています。

続いて、数研出版です。よい点として、授業のポイントがまとめられた付録など、生徒の学習を補助する追加資料が豊富にあることが挙げられました。一方、課題として、2乗に比例する関数の導入などでは、若干、日常生活と関連性が不足している内容が多く、生徒の興味関心を引きにくいという点が挙げられました。

続いて、日本文教出版です。よい点として、「学び合おう」というところで、日常生活や社会の事象から数学で考えられる事柄を見つけるようになっている点が挙げられました。一方、課題として、この「学び合おう」で話し合う内容が「どうすればよいでしょうか」といった形の演習問題的な投げかけになっており、演習問題との違いがはっきりしないといった点が挙げられています。

(意見・質疑の要旨)

藤井委員 私は東京書籍を推薦します。どの教科書も先生方が授業で使うものとして非常によくできていると考えましたが、東京書籍の全体の構成、特に既習事項のページ数が記載されていて、自分がどこをやり直そうか、どこでつまづいているだろうかなど、確認しながら、教科書をしっかりと基礎から学び直すときに使いやすいのではないかと考えました。新興出版社啓林館と数研出版にも非常に感心しました。特に数研出版は、平面図形のところに中央線の絵を使用して親しみやすいと考えましたが、生徒が家に持ち帰って自分で勉強したり、あるいは学年が上がった後にどうだったかと確認するようところで、東京書籍が1枚上に行っているのではないかと思いますので、こちらを推薦します。

武内委員 私は3社考えています。東京書籍、新興出版社啓林館、学校図書です。東京書籍は、デジタルコンテンツに創意工夫が見られることと、「数学の窓」といったところで、既習事項との関連を学ぶことができる点を評価します。新興出版社啓林館は、同様に二次

元コードによるコンテンツが充実していることと、数学ライブラリや問題解決といったところが子どもたちにとって分かりやすいのではないかと思います。学校図書は、問題解決型の配置になっていて、デジタルコンテンツもあります。また、生徒が振り返りをできるとか、思考、考え方のコーナーで既習事項を深めることができる点を評価します。

大木教育長職務代理者 私は東京書籍を推薦します。理由として、1点目に、第1学年で算数から数学への導入の単元が設定されていて、また、数学の学び方の説明も分かりやすく記述されている点。2点目に、例題のすぐ下の問いの色分けの囲いや、調べてみよう、考えてみようなど、レイアウトとしてとても見やすい点。3点目に、各章の導入が身近なテーマで記述され、生徒が興味を引きやすい点。4点目に、基本から発展、応用の演習問題が充実していて、深い学びが意識されている点。5点目に、藤井委員もおっしゃいましたが、既習事項のページが記されているので、確認や復習がしやすい点。6点目に、デジタルコンテンツが充実し、生徒が各々の理解やペースに合わせて学習を進めることができ、内容も工夫されていて、興味深いものが多い点。以上のことから、東京書籍を推薦します。

辻委員 私は新興出版社啓林館を推薦したいと考えました。まず、各単元の導入に、教室での生徒同士や生徒と先生のやり取りが設定されていて、どうすれば解決できるかとか、どうすれば効率的かという疑問が提示されているのがよいと思いました。これによって数学は身近なところにあるのだという前提で学習を始められるのがよいと思いますし、それから巻末の数学広場、ここも学んだことの定着から発展して力試しもできますし、又は読み物としても面白い内容が含まれていて、活用の仕方によっては、生徒の興味関心に応えるものになると思いました。

他方で、私は学校図書も解説が分かりやすくよいと思いましたし、それからページの右下にある次の課題へというのが、学びの連続性があってよいと思いましたが、調査委員会の指摘に、2次方程式の解法の順序が生徒にとって分かりにくいのではないかという指摘がありました。これは重要かつ難しいところだと思いますので、生徒の分かりやすさを優先させたほうがよいと思ひまして、新興出版社啓林館を推薦します。

教育長 私は東京書籍を推薦します。委員の皆様と同様の視点ですが、特に国分寺市は小・中連携教育を重視していますので、0章の「算数から数学へ」は非常に大切などころかと思ひます。また、何回も繰り返し出されていましたが、デジタルコンテンツの活用は非常に効果的だと思います。わざわざシミュレーションを活用している点も充実していて、130を超えるコンテンツがあるのは、授業にもすぐに活用できそうだと思います。

それでは、多くの方が推薦されましたので、東京書籍を採択したいと思ひますが、辻委員よろしでしょうか。

辻委員 結構です。

教育長 それでは、数学については1番、東京書籍『新編 新しい数学』を採択することに決定しました。

(8) 理科

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 理科の報告をします。1番の東京書籍、5番の新興出版社啓林館が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、3番の学校図書、4番の教育出版が、「国分寺市で使用するのに適当である」、2番の大日本図書が「国分寺市で使用するには適当とは言えない」としました。

初めに、東京書籍です。よい点として、二次元コードや、スタート動画や資料動画等の資料が充実している点が挙げられました。また、単元や章の始めと終わりに同じ問いが配置され、学習前後で理解の変容が比較できる仕組みであることや、探究的な発問が豊富で、生徒の思考を整理したり、考察したりすることができることも要因として挙げられました。

続いて、大日本図書です。本教科書は、数学同様、令和2年度3月の検定を受けた教科書のため、現在、生徒が学校で使用している教科書と変わっていません。課題として、実験のページに全ての内容が書かれているため、生徒は実験前から結果が分かっしまい、考えたり、探究したりする活動をさせにくい構成となっていることです。理科の新学習指導要領では、予想、仮説、計画、実験、結果、考察という探究活動に重点が置かれています。本教科書は、その探究活動の流れが弱いのではないかという意見が挙げられました。

続いて、学校図書です。よい点として、キャラクターがいろいろな形で、吹き出しで探究活動のヒントを出してくれているので、これを見ながら生徒は課題を見つけたり、仮説を立てたりする点が挙げられました。一方、課題として、そのヒントにより思考の流れが限定され、自由な発想や多面的な見方がしづらいという点が挙げられています。

続いて、教育出版です。よい点として、全体的に基本的な内容に絞り、分かりやすい説明や図となっている点が挙げられました。また、化学式が大きく、説明が小さい文字で書いてあり、分子モデルなどが書かれていてとても見やすくなっています。一方で、課題として、基礎的な内容が多いため、探究活動などの項目が少ないことが挙げられました。

新興出版社啓林館です。よい点として、図や写真が多く、文字も大変見やすいことが挙げられています。また、探究実験という箇所が単元ごとに1つずつになっており、巻末にある探究シートを使うことで、より深く学習できるようになっている点が挙げられました。一方、課題として、周期表の中で、例えば原子番号45、46、47は全て直方体の金属の塊になっていて、一番右下、ヘリウム、ネオン、アルゴン、クリプト、キセノンは全部瓶となっています。物質そのものが書かれているので違いが分かりづらく、身近なものとの関連が分かりづらい点が挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

藤井委員 ほとんどの理科の教科書に「理科室の決まり」が冒頭にあって、これは私がお子さんの頃はあまり覚えがなかったのですが、理科室では、火を使ったり、特殊な薬剤を使ったりすると思うのですが、例えば災害が発生したときなどの注意事項を、特に第1学年の最初の授業で指導する形で教科書に使用されるという理解でよろしいですか。

調査研究委員会委員長(理科) 理科は火を使ったり、薬品を使ったり、危険が伴う場合が多くありますので、年度の初めの授業の最初でこういったことを指導するのが一般的になっていまして、教科書の中にも入っている状況です。

武内委員 私は東京書籍を推薦します。探究の流れが冒頭のところで押さえられていることと、各単元の途中で探究の扱いがなされていることが良かったと思います。特に自然科学はそのようなことが大事だと思います。それからもう1点は、デジタルコンテンツが工夫されていることがよい点だと思いました。また、どこでも共通してあるのですが、先ほど藤井委員がおっしゃったような実験中の扱い等の記述についても評価をします。

大木教育長職務代理人 私も東京書籍を推薦します。理由として、まず二次元コードのデジタルコンテンツが、私も拝見しながらいろいろと見て楽しめましたが、非常に充実していると思います。2点目に、ほかの教科書もちろん充実してはいるのですが、理科にお

ける探究的な学びが特に強く意識されており、充実しているのではないかと思います。「？」で課題を提示して、仮説を立てさせ、観察や実験を行った上で考察をして、この「！」で、その最初の「？」に対する自分の考えをまとめようとして、その考察を基に課題に対する結論をまとめさせています。この一連の流れによって、探究的にデータを分析してまとめる力を養うことができると思います。ただ、苦手な生徒もいるかと思いますが、キーワードが提示されていますので、理科、あるいは記述が苦手な生徒でも取り組みやすいと思いました。3点目に、結果の見方や考察のポイントが明確である点。そして最後に、図版や写真が多く、きれいで見やすい点。以上のことから、東京書籍を推薦します。

辻委員 私も東京書籍を推薦します。理由として、これまで出た意見と重なる点も多いですが、まず、課題提示と結論が対応し、解決に向けた流れが分かりやすい点がよいと思いました。その解決に向けた活動の中でも、概念的に何かを学ぶのではなく、結果を予想し、その結果を実感できるような内容のものが多く示されているのがよいと思いました。それから、用語の説明が詳しくて的確である点も分かりやすいと思いました。

藤井委員 私も東京書籍を推薦します。二次元コードを使った教材、学習前にもまず自分で考えて、そして書き出してみよう。理科や社会は子どもたちが暗記科目だからと受身になりがちで、私の職場の話ですと、共通テストで点がとれなくなるという最近の傾向として、まず初見の問題を自分の知識で考えてみるという傾向があり、これは受験だけではなく、社会全体で必要になってくることかと思いますが、そのような導入になっている部分です。あと、もう1点は、科学の本棚というのが各学年教科書の冒頭にあり、この学年で学ぶ内容に関係する本だよと、生徒たちが手にとりやすいような単行本などを中心に紹介されているので、これなら国語科であったり、図書館であったり、あるいは、市の図書館課と連携しながら学びを広げていけるのではないかと考え、東京書籍を推薦しました。

教育長 新興出版社啓林館の写真のインパクト、これも捨てがたいと思ったり、また、単元を貫く学習の流れは本当にイメージしやすい構成になっているところもよいと思いますが、私も皆様と同様で、東京書籍を推薦したいと思います。それでは、全員一致したところで、理科については1番、東京書籍の『新編 新しい科学』を採択することに決定しました。

(9) 音楽 (一般)

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 音楽 (一般) の報告をします。2番の教育芸術社が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

まず、教育出版です。よい点として、音楽の持つ多様なよさや面白さを味わうことができる内容になっている点が挙げられました。課題として、紙面の色合いや楽譜内の歌詞、説明文の文字が読みづらい点などが挙げられました。

続いて、教育芸術社です。よい点として、音楽を形づくっている要素の内容が豊富で分かりやすく、どの活動にも活用しやすいものとなっている点が挙げられました。また、有名な「魔王」のページになりますが、写真やイラストではなく、楽譜があることから、その後、指導者が授業を進める上で多様な展開が可能であることのよさが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理者 私は教育芸術社を推薦します。理由として、まず導入が非常に丁寧である点。2点目に、思考力、判断力、表現力、知識、技能をそれぞれ表現と鑑賞に分けて学習の内容が明確に記されている点。さらにそれを取り上げる曲との対応がはっきりしていて、学習の目的が明確である点。3点目に、学びのコンパスで協働的な学びを有効に進めることができ、さらに自主的に、より理解を深めることができる点。4番目に、ワークシートなどで主体的に学びを深めることができる点。5点目に、生活や社会の中の音楽ということで、音、あるいは音楽の具体的な役割について考えさせていき、その音楽が日常生活と非常に密接であるということ意識できる点などから、教育芸術社を推薦します。

辻委員 教育芸術社を推薦します。音楽（一般）の教科書を見るとどちらもそれぞれよさが発揮されていると思いました。いずれにも二次元コードが割と多くついていてよいと思ったのですが、見比べると、教育芸術社のほうが、譜例やカラピアノなど、バリエーションが豊富のように思いました。興味を持った生徒にとっては世界が広がると思いますし、中には関連する豆知識のような情報にも触れることができるような二次元コードがあり、これらはぜひ活用していただきたいと思いましたので、教育芸術社を推薦します。

藤井委員 どちらも持ち帰って、家でも読みたくなるような楽しい教科書だと考えましたが、教育芸術社を推薦します。郷土の音楽、民謡などについて調べてみようというところがあり、ぜひ国分寺学なども絡めながら活用していただきたい教科書だと考えました。

武内委員 両者の大きな違いはあまり感じませんでしたが、あえて申し上げれば、教育芸術社を推薦したいと思います。楽譜の読み上げ、二次元コードから学びが深められることや、学びのコンパスといったところで関連事項を更に学ぶことができる点を評価します。

教育長 私も同様の意見です。教育芸術社を推薦したいと思います。楽譜の見やすさ、扱いやすさ、また歌唱、鑑賞、創作の学習を深めるために十分な曲数など、内容もそろっていると感じました。

それでは、音楽（一般）については、全員一致で2番、教育芸術社『中学生の音楽』を採択することに決定しました。

(10) 音楽（器楽）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 音楽（器楽）の報告をします。2番の教育芸術社が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の教育出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに、教育出版です。よい点として、写真や図版が多く分かりやすいことや、楽器ごとのインデックス、合奏の難易度が表示されており、生徒の活動への配慮がされていることが挙げられました。課題として、授業で扱うことも多いリコーダーの楽曲がやや少ないことが挙げられました。また、コロナ後に器楽として打楽器を扱うことが少し増えている状況で、打楽器を扱うページが1ページしかないことも挙げられました。

続いて、教育芸術社です。よい点として、授業で扱うことの多いリコーダー等を中心に、内容が丁寧に説明されていることが挙げられました。また、1個1個の楽器についての奏法や、この音を出してみようというリズムが乗っていることで非常に分かりやすく、指導者として扱いやすいという意見がありました。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 教育芸術社を推薦します。全体として、ページを開いたときの印象がすっきりしていると思いました。見やすさは大事ですので、この点は重視したいと思いました。また、リコーダーの運指をはじめ、奏法の解説が分かりやすいと思いましたので、教育芸術社を推薦します。

藤井委員 私も教育芸術社を先ほどの音楽と併せて推薦します。解説の分かりやすさと、音楽の教科書と同様、二次元コードを使用する教材が充実していて非常に分かりやすいというところで推薦したいと思います。

武内委員 音楽(器楽)も教育芸術社を推薦します。教科書を開いたときの分かりやすさ、生徒にとっての理解のしやすさといったところで差異があると判断しました。

大木教育長職務代理者 私も教育芸術社を推薦します。理由として、先ほどの音楽(一般)とほぼ同様に、学習内容が明確に示されて、取り上げる曲との対応がはっきりしていて、学習目的が明確である点。あとは自主的により理解を深める学びのコンパスがある点。それから資料も充実している点も評価しました。先ほどほかの委員からの話や報告書にもあるように、リコーダーやギターの説明が非常に分かりやすいと思います。小学校の教科書のときにもリコーダーの運指表が見やすかったのですが、ギターのコード表もとても見やすかったです。あと、いろいろな楽器の説明がとても丁寧ですので、生徒の理解のみならず、先生方の指導においても非常に使用しやすいのではないかと思います。

教育長 私も同意見です。それでは、音楽(器楽)については全員一致で2番、教育芸術社『中学生の器楽』を採択することに決定しました。

(11) 特別の教科 道徳

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 特別の教科 道徳の報告をします。1番の東京書籍、6番のあかつき教育図書が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育出版、3番の光村図書出版、4番の日本文教出版、5番のG a k k e n、7番の日本教科書が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに東京書籍です。よい点として、1年間で学ぶことが観点別に色分けされていることや、各文章のタイトル下に二次元コードがあることで、視覚的に分かりやすいことが挙げられました。また、現在活躍中の芸能人や文化人の内容が多く取り上げられ、生徒の興味関心を引きつける工夫がされています。

続いて、教育出版です。よい点として、3年間での連作教材があり、生徒の成長とともに考えやすい教材となっているところや、読み物の後に学びの道しるべという項目があり、考えを深める工夫がされているところが挙げられました。一方で、作り込まれた資料や作品が少なく、新しい資料が多いことや、文章の中にイラストや写真等が入っていることで、構成的に見にくいことが挙げられました。

続いて、光村図書出版です。よい点として、全体的に分かりやすくまとめられており、漫画やイラストを使用した題材が多く、生徒の興味関心を引く工夫がされている点が挙げられました。一方、漫画やイラストが充実しているために、生徒の意見を誘導してしまう懸念があるという意見もありました。

日本文教出版です。よい点として、教科書とは別に道徳ノートが附属し、自分の考えをまとめる際に活用できる点が挙げられました。一方、課題として、一部の内容が詳しく説

明され過ぎ、考えを深めることにつなげにくく、分析的な学びになってしまいかねない点が挙げられました。

G a k k e nです。全体としてコンパクトにまとまっていて、よく考えられた内容、構成等と評価されています。一方、行間や文字に特徴があり、読みにくい印象があるところが課題として挙げられました。

あかつき教育図書です。よい点として、長く親しまれている資料が多数掲載されており、発問しやすい文章や内容が多く、扱いやすい内容となっているところがあります。また、二次元コードが付随しており、授業を進める上で補助資料として活用することができます。

最後に日本教科書です。よい点として、ウェルビーイングカードが巻末にあるなど、内容を深めるための工夫があることが挙げられました。課題として、全ページにわたり余白が多く、生徒にとって物足りなさを感じやすいことが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理人 東京書籍の課題に、全体として新しい資料が多いことが挙げられていますが、なぜこれが課題と評価されたのか教えてください。

調査研究委員会委員長(道徳) 調査や比較の中で言われてきたことですが、「非常に適当である」教科書が2つある中で、どちらかという、あかつき教育図書のほうがスタンダードなものが入る一方で、東京書籍のほうが新しい資料が入っており、調査した中では、スタンダードのほうが授業をやりやすいというぐらいの差であり、比較的なものです。

大木教育長職務代理人 新しい資料が多いこと自体が決してマイナスとは限らないかと思ったので、伺わせていただきました。

藤井委員 私は道徳の教科書として読みやすかった、あかつき教育図書と光村図書出版で非常に迷ったのですが、両社に道徳を学ぶ理念として出てきたフレーズが、あかつき教育図書が「自分を見つめ、考え、生きる。自分の生き方を考える。」、光村図書出版が「答えは一つではない。自分と向き合い他者と向き合う。そして学びをつなげる。」とあり、その理念の部分や道徳をなぜ学ぶかというプレの段階で、正義や道徳観というものを相対化させるような漫画、イラスト等を導入したり、地域に関する話も、「自分の地域の『宝』って?」、あるいは私のまち、あとは非常に具体的な話ですが、「好いとっちゃん、博多」という形であり押しつける形でなく、地域と自分との関りを考えるような教材が充実している光村図書出版を推薦したいと考えました。

武内委員 私はG a k k e nとあかつき教育図書を推薦します。G a k k e nは、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」といった、教材を通して生徒の考えや活動をしっかりと組織しようとする意図を感じ、選びました。また、生徒の生き方につながるような内容が盛り込まれていると判断しました。

あかつき教育図書は、テーマ別の索引が冒頭にあって非常に分かりやすいこと。また、扱っている教材の内容、構成がよく、道徳的な意識や価値を生徒が考え、さらに自分を見つめてそれを深めるなど、考えを深めていくように投げかけるところを評価します。

大木教育長職務代理人 私は東京書籍を推薦したいと思います。理由として、1点目に、1年間で学ぶことが観点別に色分けされていて分かりやすい点。2点目に、取り上げている文章の内容が幅広く、自らの視野を広げる上で有効な題材であると考えた点。3点目に、「学びをふり返ろう」のシートや心情円など、生徒が自らの考えや学びを深めるための工夫がされている点。4点目に、クラスで考えを深めたり、ロールプレイングの方法が書い

であったりして、生徒が実際に行う上での参考になると思った点。5点目に、課題に対する考えだけでなく、更に深く考える、ぐっと深めるというコーナーがあり、グループディスカッションができて、協働的な学びを深められる構成となっている点。6点目に、各単元につぶやきという枠があり、しっかりとしたワークシートで書くだけでなく、ふと心に浮かんだことをちょっと書けるスペースがあるのは、今どきの生徒にとってはよいのではないかと思った点。それから、今の話題の人や、はやりの内容を取り上げたり、時々漫画の挿絵があったりしているので、生徒も関心を持ちやすいのではないかと思った点です。

あと、第1学年の最初の教材に、「どうせ無理という言葉に負けない」という言葉とともに「日本人の宇宙開発は、1955年、糸川英夫が、片手で持てる小さなロケットをつくったところからスタートします」とあり、国分寺市の誇りとする糸川先生の一文があったことも、個人的には関心を持ちました。

辻委員 私はあかつき教育図書を推薦します。全体的に、イラストやレイアウトに統一感があって、落ちついた印象を受けました。一人ひとりがじっくり考えるという道徳の教材としては重要なポイントだと思います。また、巻末に、SDGsとのつながりや、ふるさととの関連がまとまっているのもシンプルで扱いやすいと思いました。国分寺学にも使えるのではないかと思った次第です。

教育長 大変悩ましい結果になっているのですが、私が推したいのは東京書籍です。大木教育長職務代理者からも話があったように、最初の教材が宇宙に関する教材ということで、国分寺市の生徒には大変関心を寄せる部分があるのかと思いますし、冒頭の調査研究委員会からの報告の中でも、新しい資料というところはそれほどの課題ではないという話があり、漫画とかイラストとか、写真なども使いながら、いろいろな視点で資料や教材を載せていただいているところは活用しやすいと思います。また、いじめや命を重点テーマに置いているところでは、これは大切な視点ではないかということも含めて東京書籍としたところですが、さて、藤井委員は光村図書出版とあかつき教育図書というお話があったのですが、その点について、もう1回意見をいただけたらと思います。いかがでしょうか。

藤井委員 甲乙つけ難かったあかつき教育図書と光村図書出版ですが、国語の教科書を読みつけているせいか、私の感性が光村図書出版によっていたのかもしれないですが、あかつき教育図書も甲乙つけ難く、こちらも、先ほど委員からも話があったとおり国分寺学とのつながりも持たせやすく、非常に安定した内容かとは考えましたので、あかつき教育図書が採用されても光村図書出版と甲乙つけられるものではないと考えます。

教育長 あかつき教育図書は、非常に長く親しまれている教材が多いということで、先生方も教材研究をしやすかったり、実践例も多いのかと思います。そのあたりで評価が高かったのかと感じた次第です。藤井委員の評価も高いということで、大木教育長職務代理者、あかつき教育図書でいかがでしょうか。

大木教育長職務代理者 結構です。

教育長 それでは特別の教科 道徳については、6番、あかつき教育図書の『中学生の道徳』を採択することに決定しました。

教育長 それでは、ここで暫時休憩をとらせていただきます。

(休憩 午前10時47分～午前10時52分)

教育長 それでは、会議を再開します。

(12) 保健体育

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 保健体育の教科用図書について説明します。4番のG a k k e nが「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の大日本図書、3番の大修館書店が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

初めに東京書籍についてお話しします。よい点として、運動やスポーツの効果、体力を高める運動の例などが構造図で掲載され、分かりやすいことが挙げられました。一方、課題として、二次元コードからアクセスし、各章のワークシートが表示されますが、PDF化されているため、生徒が端末上で書き込みができない点が挙げられていました。

続いて、大日本図書です。よい点としては授業のまとめに当たり「活用して深めよう」という記載があり、対話的で深い学びへと展開しやすいことが挙げられました。課題として、性の多様性についての解説やトピックが少ないことや、実生活に生かす例示が少ないことなどが挙げられました。

続いて、大修館書店です。よい点として、「掘り下げる」という箇所では、本文に出てくる語句等が詳しく解説されているなど、性について固定的な考え方に気づこうというテーマの横にある「発展」という記号から、指導要領範囲外の内容が掲載されていたりしますが、深い学びにつながる点が挙げられました。一方で、課題として、ワークシートの内容が固定化されていて、他の教科との関連の掲載が少なく、教科横断的な学びの視点が不足していることが挙げられました。

続いて、G a k k e nです。28ページを御覧ください。よい点として、単元の初めに「ウォームアップ(課題の発見)」「エクササイズ(課題の解決)」「学びを生かす(学びの活用)」という内容が掲載されているため、対話的な学びに取り組みやすい点が挙げられていました。また、二次元コードから、教科書全体の項目が読めるようになっていることや、気象庁、警視庁のリンクにも飛ぶことができるなど、デジタルコンテンツが充実しているという意見が出されました。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理人 私はG a k k e nを推薦したいと思います。理由として、1点目に今の報告にもありましたように、1時間の流れが明確で使いやすいことです。「ウォームアップ」「学習の課題」「エクササイズ」「学びを生かす」という構成で、非常に流れが分かりやすいと思いました。2点目に特に「学びを生かす」という箇所では思考や考え方が示されており、また、ディスカッションの課題もあるなど、対話的な学びや協働に有効であると思いました。3点目に、章のまとめの箇所で、まず「振り返ろう」で、4段階で自己チェックをし、次に「確かめよう」で知識を確認し、最後に「生かそう」で記述するなど、多様な学びの方法が示されています。さらに、「生活への活用」で、実生活への応用と結びつけて自ら考えることができる点を評価しました。4点目に、章末の「探究しようよ!」の内容が特に充実していて、より深い学習ができるように構成されていると思いました。5点目に、下の欄外の情報サプリーでプラスアルファの情報を得ることができて、二次元コードの情報も非常に充実していてよいと思いました。

辻委員 私は大修館書店を推薦したいと考えました。理由として、特集のページが充実していることです。ここで性の多様性の問題について最も多く触れられていると思いました。

性の多様性の問題は、学校生活の中で現実に直面している当事者もいて、非常に重要な問題であると思いますので、ぜひ十分に取り上げてもらいたいと思います。

また、同じくですが、特集ページで、感染症と差別の問題や環境との関わりなど、社会との接点を考えさせて多角的に学べるのがよいと思いました。

藤井委員 東京書籍とG a k k e nで迷いました。東京書籍の動画もなかなかよくできていますが、使いこなそうとするとアクセスが悪かったり、動かないところがあったりしました。特に保健体育の限られた時間の中での授業でもし活用されると考えると、適宜、警視庁、気象庁等外部のリンクを活用するG a k k e nのほうがかえって使いやすいのかと考えました。あと導入程度ですが、LGBT、SOGIなど性の多様性についての言及もなされている点でG a k k e nを推薦したいと思います。

武内委員 私は2社を推薦します。1つ目は大修館書店で、これは章のまとめで、3観点との確認を自己点検できるところが優れていると判断しました。もう1つはG a k k e nで、大木教育長職務代理人から話が出ていましたが、「探究しようよ!」というところで、生徒自身が自らの思考を深めることができる教材構成になっている点がよいと思いました。

教育長 私もG a k k e nを推薦します。お話にあったように、主体的、対話的な学びにつながるような「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」という流れは、とてもよいと思いましたし、現代的な課題を学ぶ機会、共生、あるいは多様性、ウェルビーイングなどもしっかりと押さえられていると感じました。国分寺市で長らく使われている教科書ですので、先生方にも親しみがあると感じた次第であります。

それでは、多くの方が推薦されたG a k k e nを採択したいと思います。辻委員よろしでしょうか。

辻委員 結構です。

教育長 それでは保健体育については、4番、G a k k e nの『新・中学校保健体育』を採択することに決定しました。

(13) 美術

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 2番の光村図書出版が「国分寺市に使用するのに非常に適当である」、1番の開隆堂出版、3番の日本教出版が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

まず、開隆堂出版です。よい点として、図版の印刷が表紙に比べて彩度を低くしていて、光が当たり過ぎて見えづらくなるのを防ぐことや、色覚の多様性への配慮が感じられるところです。課題として、各領域で説明されている内容で、生徒にとって分かりづらく、イメージを広げにくい言葉や表現が見られると思います。

続いて、光村図書出版です。よい点として、資料が別冊になり、改めて副教材を購入する必要がなく、3年間を通して使用可能となっているところです。また、全体的に図版が大きくて見やすいことや、各領域の内容が発達の段階に合わせてバランスよく網羅されていることも挙げられます。

続いて、日本教出版です。よい点として、第1学年の基本的な内容や技法が充実していて、第2学年、第3学年と進むにつれ、各領域の内容がより深められる内容になっていることが挙げられました。課題は、図版が豊富に掲載されているのですが、そのため各図版のサイズがやや小さくなってしまっていることが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 開隆堂出版の教科書について、課題として、言葉の選択や表現が専門的過ぎて難しいことが挙げられていますが、美術の時間はあまり教科書を見て、説明をみんなで読んで理解して深める場面は多くないように思いましたので、この課題は克服できるのではないかと考えたのですが、いかがでしょうか。

調査研究委員会委員長(美術) 辻委員の言われたように対応できますが、教科書を使ったときに、生徒自身にイメージを持たせるのに少し言葉が難しく、指導者としてその入りが難しいかという意見がありました。

教育長 辻委員、よろしいですか。

辻委員 はい。結構です。

私は、教科書として見たときは、開隆堂出版がよいのではないかと思いました。情報量や作品の配置、それから写真なども見やすく、全体的にすっきりして見やすさという点では一番よいのではないかと感じた次第です。また、仏像の解説のページも非常に分かりやすいと思いましたので、修学旅行で京都・奈良に行く国分寺市の生徒にはよいと思いました。ただ、説明が専門的で難解という点は、これが致命的ならば、やめたほうがよいのではないかと非常に悩んだのですが、素人考えで、美術なのだから説明が多少難しくても、そこは美術の先生とみんなの話合いで克服できるのではないかと思って開隆堂出版を推薦しようと思っていたのですが、実際に生徒たちを前にして、先生方が指導しづらい面があるのであれば、そこを押してでもということでもないのかと少し気持ちが傾いています。

光村図書出版も資料集が別にあるなどの工夫がされていますし、中に収められている写真に迫力があったり、よい点がたくさんあると思いましたので、迷った末、ここで翻意して、光村図書出版に推薦を変えたいと思います。

藤井委員 私も修学旅行前の仏像の予習は非常に魅力を感じたのですが、私は光村図書出版を最終的には推薦したいと考えました。別冊の資料について、制作の技術や道具などをうまくまとめたものが別冊の形になって使いやす点と、資料が見やすく、魅力的な教科書だったのですが、光村図書出版は日本画を扱うところは紙質を変えて、和紙の質感で見られるという工夫をされていたので、光村図書出版を推薦します。

武内委員 私は日本文教出版を推薦します。学びの目標というものが、生徒がそれを意識して学習することができること、また、3年間の学びを俯瞰できるところは優れた点だと思います。あとは他社もそうですが、生徒の作品が結構掲載されていることとか、技巧面も含めて学習する生徒が記述する欄があり、表現のヒント、造形的な視点といった欄を通して、それを書くことができる点を評価します。

大木教育長職務代理者 私は、光村図書出版を推薦したいと思います。理由として、先ほどから話に出ているように、資料が別冊で、3年間を通して使用するのに便利であること。2点目に、学習の目標が明確に記載されていること。3点目に、ポイントという箇所、作品を鑑賞するときのポイントが示され、美術の鑑賞などに苦手意識を持つ生徒が安心して学習できるのではないかと思った点。4点目に、ほかの教科とのつながり、あるいはSDGsとの関連が特に意識されているのではないかと感じた点。5点目に、先ほど藤井委員もおっしゃったように、日本の絵画の紹介では紙質を変えるなどの工夫がされている点。そして最後に、新しい漫画とかアニメ、映像などの内容の点では、生徒にとって非常に身近で興味を引く題材を取り上げている点。以上のことから光村図書出版を推薦します。

教育長 私は開隆堂出版に魅力を強く感じているところであり、専門的な用語という話がありました。そこはぜひ美術の先生方が工夫して、かみ砕いて説明をしていただくといいところで補っていただけたらと強く思うわけですが、委員の皆様の意見をまとめますと、光村図書出版ということで確認をしてよろしいでしょうか。辻委員、武内委員、よろしいでしょうか。

辻委員・武内委員 結構です。

教育長 それでは、美術については2番、光村図書出版の『美術』を採択することに決定しました。

(14) 技術・家庭（技術）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 技術分野の報告をします。3番の開隆堂出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、1番の東京書籍、2番の教育図書が「国分寺市で使用するのに適当である」としました。

東京書籍です。よい点として、基礎的な知識、技能についての説明が詳細に記載されており、実物の写真や作業の写真、若しくは挿絵などが多く使われていて、理解しやすい構成になっている点が挙げられました。一方、各領域の実習例や問題解決や最適化についての記載が少ない点が課題として挙げられました。

続いて、教育図書です。よい点として、問題解決や実習の内容が充実しており、構成上の工夫として、制作工程、制作方法が分かりやすい説明になっているところが挙げられました。一方、総ページ数が少なく、1ページに記載されている情報量が多く、読みづらいことが課題点として挙げられました。

最後に開隆堂出版です。よい点として、構成上の工夫により、原則見開き単位で小項目の学習が完結するようにレイアウトされており、学習がしやすい点が挙げられました。また、小項目の冒頭部に学習の目標が記載されていること。レッツスタートと題して、導入課題を設けて生徒に身近な課題に取り組みせ、問題意識を持たせることで、自ら解決しようとする能力を養うよう工夫されている点も評価されました。

（意見・質疑の要旨）

藤井委員 私は技術・家庭ともに、開隆堂出版を推薦したいと思います。写真や動画で見ても説明が非常に分かりやすく、自分で少し家に帰って調理でもやってみようと思ったときに、さっと教科書を開く、動画で見る。ただ少し気になるのが、動きが遅いと、授業の中で見直そうとした子が、それを見るのに時間を割いてしまうと思いました。開隆堂出版は私が使った限りではそこが一番スムーズにいきましたので、開隆堂出版を推薦します。

武内委員 私も技術と家庭共通して選んでしまいましたが、東京書籍を推薦します。理由として、キャラクターが登場してきて、生徒にとって親しみやすい構成になっている点です。課題改善や問題解決につながるような投げかけがなされている点を評価しました。

大木教育長職務代理者 私は開隆堂出版を推薦します。理由として、1点目に、ガイダンスが充実しており、技術の見方、考え方、学習の流れが非常に分かりやすいこと。2点目に、各単元の学習の目標や学習課題、そして流れが明確である点。3点目に、小学校や他教科とのつながりも示されている点。4点目に、実習例が単なる説明ではなく、問題の発見と課題の設定という気づきを重視している点。さらに評価や改善点を考えるようになった

ていて、他社もそのような構成にはなっていますが、特に開隆堂出版は、この構成が分かりやすく、いわゆるPDCAサイクルを意識できるようになっていると感じました。5点目に、各章の学習のまとめが知識の定着と自らの考えを書かせる構成となっていますし、6点目に、左ページ下の豆知識というのは、生徒たちが楽しめる雑学で、右ページの下で自らの学習をチェックできるなど、細かいところに工夫がされている点。以上のことを評価して、開隆堂出版を推薦します。

辻委員 私は技術分野の教科書を見比べた結果、教育図書の教科書がよいと感じました。冒頭の、技術の力で誰もが暮らしやすい社会をつくるというところでは、技術を学ぶ目的が分かりやすく示されていると思います。科学技術の発展は、本来、人の幸せのためにあるということを生徒に伝えるのに、これが冒頭にあるのはよいと思いました。また、技術のプラス面とマイナス面を指摘する箇所が他社に比べて多い点もよいと思いました。生徒には技術の功罪と、その上でどのように未来に進んでいくかを考えてもらう教科なのかと思いますので、このような記載は非常に魅力的だと思いました。

それから、各編が、技術を見つめよう、生かそう、未来をつくろうという流れになっているのも、学びの発展という点でよいのかと思いました。他方で、調査委員会の報告を見ると、少し文字が多くて情報量が多いとか、実習の進め方や具体的な作業説明が少ないという指摘もあって、このようなマイナス点も非常に重要かと思います。

他方で開隆堂出版を教科書として見ると、非常に見やすくシンプルですし、豆知識というところでも、生徒の興味関心を引くような内容の記載がたくさんありますので、教育図書の記載内容に魅力を感じますが、開隆堂出版もこれに次ぐものとして、同じぐらいよいと感じています。

教育長 私は開隆堂出版を推薦したいと思います。どの教科書も非常によくできていて、安全に配慮されていて、様々な工夫をして、実習にも役立つような内容が示されていますが、中でも開隆堂出版は学習の流れをしっかりと把握しやすいと思います。章の始まりにその流れがしっかりと示されて、見通しを持って学習に臨めるというところが工夫され、安全マークとか、いろいろなところで優れているのではないかと思った次第です。

それでは、多くの方が推薦された開隆堂出版を採択したいと思いますが、武内委員、よろしいでしょうか。

武内委員 結構です。

教育長 それでは技術分野については、3番、開隆堂出版『技術・家庭 技術分野』を採択することに決定しました。

(15) 技術・家庭（家庭）

(選定資料作成委員会委員長からの説明)

選定資料作成委員会委員長 家庭分野の報告です。1番の東京書籍、3番の開隆堂出版が「国分市で使用するのに非常に適当である」、2番の教育図書は「国分市で使用するのに適当である」としました。

まずは東京書籍です。よい点として、ページごとに本時のねらいが明確に示されていること、二次元コードが多く、調理実習の写真や調理などの動画は授業での活用が非常に期待できることが挙げられました。また、構成上の工夫としてインデックス、これは教科書の背表紙に対するハード部分ですが、幅が広く、色がソフトで見やすいという意見も挙げられました。

続いて、教育図書です。よい点として、家族と家庭の指導内容に関する資料や、調理における献立の組み合わせの例など豊富にあり、指導しやすい点が挙げられました。一方、写真の内容や、巻末にある学習シールを使い切るだけのスペースが少ないことや、行間の狭さ、フォントの見づらさなどが課題として挙げられています。

最後は開隆堂出版です。104 ページの写真について、少し平面的で、量が分かりにくいという意見があり、課題として挙げられていました。よい点として、防災に関して、仮設住宅や避難所などに関して詳しく書かれており、図がもちろんいっぱいあるのですが、その説明もグラフや統計など、工夫がされ、丁寧で見やすいという意見がありました。また、調理例が非常に豊富であるという意見もありました。

(意見・質疑の要旨)

武内委員 東京書籍を選ばせていただいたのですが、調理写真の見栄えのよさとか、生活の課題を改善するような働きかけがあること、また、やってみようという欄で、ロールプレイングなどを取り入れて、学んだことを深めていく点がよいと評価しています。

大木教育長職務代理者 私は家庭分野も開隆堂出版を推薦したいと思います。理由として、1点目に、家族関係の多様性。離婚、再婚、里親とかヤングケアラーなど、現代社会における多様なトピックスが紹介されていて、この内容が充実している点。2点目に全体的に非常に0見やすく分かりやすい印象を受け、ガイダンス、実物大の写真、調理例の内容や手順、Q&Aが分かりやすい点です。調理例も、肉、魚、野菜、デザートなど幅広い内容を扱っていて、数も豊富であると思いました。3点目に、こちら技術分野とも似ていますが、右上にちょっとした写真があって面白いし、下に豆知識があって、いずれも生徒の関心を引くようになっていたと思います。最後に、報告にもありましたが、防災に関する記述が充実していますので、今後の日常生活にも応用できると思いました。

辻委員 家庭分野については、私は開隆堂出版を推薦します。家庭分野は私が習った昔の家庭科と違い、単に技術の習得だけではなく、家庭やそこを中心とした社会との関わりや、人と人とのつながりを考える教科に変わってきていると思いますので、そのような視点を充実させてほしいという希望から教科書を見ました。

そのような視点で見ますと、開隆堂出版の教科書は、複数箇所でも人権の視点が出ているのがよいと思いました。例えば性別役割分業の問題や、ジェンダーについて大きく取り上げています。また子どもの権利条約についても見開きページで紹介がされていました。

さらに住まいのところでは、世界人権宣言に触れて、住まいは人権と言われる理由という解説がなされているのもよいと思いました。このような点で開隆堂出版の記載内容に魅力を感じました。

他方で、制作や調理など実用的な面を見ても、例えば布の制作が実用的であったり、日常ですぐ使えるようなものが取り上げられていたり、それから調理でも、幅広いメニューが用意されていたりという点がよいと思いました。あと技術同様、豆知識のコーナーは私もよいと思います。

藤井委員 技術の時も申し上げましたとおり、開隆堂出版を推薦しますが、1点、質問してよろしいでしょうか。

教育長 どうぞ。

藤井委員 学校訪問等で様々現場を見ると、家庭科部門と、外国語は動画を使う機会が非常に多いかと考えるのですが、もしかしたらほかの科目も現場の先生方で今、動画やデジ

タル関係のものを使いながら、特定の教科書であったり、出版社のもので、例えば動画がなかなか動かないとか、動きが悪いとか、そのような話は特には出ていないでしょうか。参考までに、もしそのような話があれば教えてください。

調査研究委員会委員長（技術家庭） 調査委員会の中では、そのような話題は出ておりませんでした。

藤井委員 ありがとうございます。では変わらず、開隆堂出版を推薦します。

教育長 私は、調理実習の例示で一番おいしそうだったのは東京書籍だと思いました。まずそこでひきつけられました。また、二次元コードのデジタルコンテンツも豊富ですし、家族を考える暮らしの例をアニメや漫画などで紹介しているのは、子どもたちにも具体的に想像しやすいと感じた次第です。また、東京書籍にも災害時の避難所や仮設住宅の具体例など、非常に参考になる例も挙がっていましたので、私としては東京書籍を挙げたいところですが、皆様の意見を踏まえ、多かった開隆堂出版としたいと思いますが、武内委員、よろしいでしょうか。

武内委員 結構です。

教育長 それでは家庭分野については、3番、開隆堂出版『技術・家庭 家庭分野』を採用することに決定しました。

(16) 外国語（英語）

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 英語の報告をします。2番の開隆堂出版、5番の光村図書出版が「国分寺市で使用するのに非常に適当である」、3番の三省堂が「国分寺市で使用するのに適当である」。1番の東京書籍、4番の教育出版、6番の新興出版社啓林館が「国分寺市で使用するのに適当とは言えない」としました。

まず東京書籍です。よい点として、各学年、ユニットの学習に入る前に、学び方コーナーがあり、生徒が主体的に学習できるように配慮されていることなどが挙げられました。一方、課題として、第1学年では、小学校での学習を復習する部分となるUnit 0の内容が十分ではないために、教師が別に教材を用意する必要があることや、第2、第3学年では、ユニットの中の構成として、各パートの分量に差があることなど、教師にとって授業の組み立てや時間配分が難しいことが挙げられました。

続いて、開隆堂出版です。よい点として、単元初めの「Scenes」というページが漫画形式となっており、どのような場面で新出文法や新出表現が使われるかを視覚的に理解できるため、本文の内容にスムーズに入ることができることが挙げられました。また、デジタル教科書の動画の質もよく、理解しやすい映像になっていることや、単語学習アプリを用い、生徒が自主的に学習に取り組めるようになってきていることもよい点として挙げられました。

続いて、三省堂です。よい点として、第1学年には「Starter」というところで、小学校からの接続を意識し、小学校での学習と同じ場面設定で、同じ語句を使った会話表現から導入している点などが挙げられました。一方、課題として、リーディングレッスンという読み物の教材が入っているのですが、取り扱っている題材が難しく、生徒にとって親しみのない内容が多いという意見がありました。

続いて、教育出版です。よい点として帯活動ができるActivities Plusで、会話を広げるための話題や便利な語句の紹介などがあり、即興的な学習への工夫がさ

れている点が挙げられました。課題として、各単元終わりにタスクというページは、単語を埋める、書いていくだけの様な浅い内容が多く、生徒が目的意識を持って学習することが難しい、教科書の挿絵が生徒の興味・関心をあまり高めるものとは思えず、デジタル教科書のコンテンツの構成が分かりづらく操作しにくいなどの意見も挙げられました。

続いて、光村図書出版です。よい点として、その場でスピーキング、レッツトークという帯教材があり、話すことに特化した活動ができることや、小・中学校のスムーズな接続を意識し、小学校では音声で学習した英語が、中学校では文字で学習できるようになっていることが挙げられました。また、楽しく学ぶ工夫として、主人公の成長を中心とした3年間の継続したストーリーとなっており、デジタル教科書では実写版で本文の動画を視聴することができ、本文の登場人物たちが文法解説を行ったりしています。

続いて、新興出版社啓林館です。よい点として、題材として社会的な問題を多く扱い、生徒の世界観を広げる工夫がされていることが挙げられました。一方課題として、全体的に文字が小さくて読みづらいこと、第1学年のレッツスタートで、小学校の学習を振り返る内容が十分ではなく、教師が別に教材を用意して、学習させる必要があることなどが挙げられました。

(意見・質疑の要旨)

辻委員 デジタル教科書についてのコメントが幾つかありますが、デジタル教科書は実際のどの程度活用されると理解すればよろしいでしょうか。

調査研究委員会委員長(英語) ほぼ毎時間の授業で活用する予定です。

教育長 常に活用するということですね。

調査研究委員会委員長(英語) はい。

藤井委員 2点ほど質問します。総合検討結果を見て、全体的に英語がなかなか厳しい評価ですが、説明をお伺いしている中で、ポイントになるのが小学校から中学校の英語への連携、導入の部分がしっかりとしていないと、教材として使いにくいという面があるのでしょうかという質問と、あと幾つかで迷っているうちの1つですが、光村図書出版の英語の教科書は、比較的まだ作り始めて新しいと思ったのですが、昔から英語の教科書を制作していたのでしょうか。

調査研究委員会委員長(英語) 外国語活動は小学校のE S Sで始まって、第5、第6学年で学習するようになり、小学校から中学校への接続が重要になっています。あと、小学校の中で英語の好き嫌いが大きく分かれていますので、中学校での英語にスムーズに導入することは非常に重要だと考えています。

それから、光村図書出版の教科書は、今回の4年間で、『Here We Go!』があり、その前の2改訂で、『コロンバス』という教科書だったと思いますが、そちらがありましたので、できたばかりではありません。

藤井委員 なるほど、分かりました。

教育長 そのほか、質問はいかがでしょうか。では、私から1点だけ質問します。判の大きさが違う感じがするのですが、学校での使い勝手はいかがでしょうか。

調査研究委員会委員長(英語) 調査研究委員の中では、実際は教科書が大きくないほうが使いやすいという声はありましたが、中身を考えますと、別のものかという意見がありました。ただ、大きさで言えば、大きくないほうがよいということがありました。

教育長 いずれにしても何とか対応はできるということですね。了解しました。

それでは、委員の皆様から意見ををお願いします。

大木教育長職務代理者 選定資料作成委員会で非常に適当であるとされた2社で非常に迷い、結論としては開隆堂出版を推薦したいと思います。理由として、アクションのところで、Read、Write、Speak、いずれの観点でもアウトプットを重視している点です。2点目に、Our Projectで総合的なパフォーマンス活動ができるようになっていますし、あと、キーポイントでどのように進めればよいかを書いてあるので、苦手な生徒でも取り組みやすいのではないかと思います。3点目に、特に第2学年以降の教材で、SDGsを意識して取り上げられているものが多いと思いました。単に英語の学習にとどまらず、社会とのつながりを意識し、英語という言語を用いてSDGsへの関心を高めることができると思いました。

あとはCanDoリストで、各単元において自己評価ができるように構成されている点、それから報告にもありましたように、Scenesで新出表現を使用する場面を具体的にイメージしやすい点、6点目に、先ほどの質問や、ほかの問いにもありましたように、第1学年で小・中接続を非常に強く意識した構成となっていて、上級学年でも小学校で学んだ単語を記すなど、英語学習が小学校からの連続であることを意識できる構成になっていると思いました。また、第1学年でのアクションカードも使いやすいということで、総合的に判断して、開隆堂出版を第1候補として推薦しますが、もう1点、光村図書出版の教科書も非常に魅力的で、今、話しながらも迷っているという感じです。

辻委員 私も光村図書出版と開隆堂出版で非常に迷いました。迷いに迷った末、最終的には光村図書出版を推薦したいと思います。光村図書出版の特徴として、3年間を通したストーリーで学べるということで、生徒が親しみを持ちやすい点は非常に魅力的だと思えました。また、取り上げている内容も実生活に即していて、学びやすいのではないかと思います。英語嫌いになる生徒を1人でも減らしたいという気持ちからすると、親しみを持ってもらうことは重視したいと思いました。同様の視点で、教科書のレイアウトが見やすい点も魅力だと思います。左ページに会話や文章、右ページに説明や演習などとなっているのがすっきりしていて、スタンダードな形で見やすいのではないかと思います。

英語は、新しく覚えることではなく、自分たちの世界とつながっているのだということを、小学校で身近なところで経験してきてもらっていると思いますので、中学校でもできれば親しみやすさを忘れることなく勉強して、自然と難しい文章にも取り組む形になっていくとよいと思います。迷った末、光村図書出版を推薦します。

藤井委員 私は開隆堂出版、三省堂、光村図書出版の3社で迷いました。ただ、光村図書出版は、私は自分が中学生のときに使用していた思い出があって美化されているだろうと考えましたが、調査研究委員会が推している光村図書出版、開隆堂出版、その2社でどちらにするかで迷いに迷ったのですが、光村図書出版の「Extra Story」について、この先をもう少し読んでみたい、主体的に読んでみたいという、子どもがチャレンジしていく教材が用意されている点が1つと、まさに教育長が先ほどおっしゃった大きさの問題で、語学を学ぶときは、常に持ち歩いてほしいという意識があり、特に学校の教科書を持ち歩いて、ずっとそれを常に肌身離さないというような、基礎を身につけるという点では、この大きさのほうが、田舎のおじいちゃん、おばあちゃんの家に行くときにもかばんに入れて帰れると思います。移動のときにもかばんの中に入れておこうという形で学びに結びつくのではないかと考えましたので、光村図書出版を推薦します。

武内委員 私は3社、推薦します。特に順位はつけていません。1社目は光村図書出版で、

4技能・5領域を記号化して表記しているのはよい点だと思います。また、扱っている題材が学校生活に身近で、生徒にとってなじみやすいことと、ペアワークの設問などもよい内容で構成されていると思います。

次に三省堂については、グループワーク、ペアワークといった、表現活動がしっかりと取り組まれていること、それから一定程度のライティングにも割かれているところ、デジタル教科書の活用といったところを評価しています。

また、開隆堂出版については、やはりペアワークがあり、表現活動が重視されていること、それから先ほどと同じですが、一定の割合、ライティングにもしっかりと力点を置いているといったところを評価します。

教育長 大変悩ましい評価になりつつありますが、私の結論を述べる前に、1つお話ししたいのは、今回非常に、外国語の評価が厳しかったと感じています。「国分寺市で使用するのに適当ではない」という評価が3社ほどありましたが、私はそこまでではないと認識をしています。それぞれ、学習指導要領に基づいて、様々な工夫がされたすばらしい教科書ですので、国分寺市の子どもたちが使用してもしっかりと学べる教科書にはなっていると思います。その中で、より一層、国分寺市の子どもたちに適しているのはどこかというところで判断したいと思います。

私も委員の皆様発言にあつたように、開隆堂出版と光村図書出版で非常に迷いました。開隆堂出版は小学校でも使用していますので、小・中連携という視点で考えると、もしかしたら小学校と中学校の先生と一緒に教材研究などでも生かせるのではないかと思ったところですが、やはり光村図書出版の非常に子どもたちが親しみを持てるような、第1学年では自分のことや日常生活のことから始まり、第2学年では自分のまちや地域、さらには日本の文化、そして第3学年では社会的な問題へと英語を通して世界が広がっていく、そんな学びができるのではないかと可能性を感じた次第であります。また、イラストや会話の場面なども非常に分かりやすく、実生活に即して、先ほど藤井委員からもお話があったような、その次の内容がどうなっているのかというところで、コンテンツも活用できると思います。そんな魅力も感じたところで、本当に2社のうち、どちらかという判断をするのは非常に難しいところですが、今回は光村図書出版を推薦します。よろしいでしょうか。

全員 異議なし

教育長 それでは英語については、4番、光村図書出版『Here We Go!』を採択することに決定しました。

ここで議案第41号の審議のまとめを行いますので、暫時休憩します。

(休憩 午後0時40分～午後0時48分)

教育長 議案第41号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について確認します。

国語（国語）	・・・	光村図書出版「国語」
国語（書写）	・・・	光村図書出版「中学書写」
社会（地理的分野）	・・・	帝国書院 「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」
社会（歴史的分野）	・・・	帝国書院

		「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」
社会（公民的分野）	・・・	帝国書院 「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」
社会（地図）	・・・	帝国書院「中学校社会科地図」
数学	・・・	東京書籍「新編 新しい数学」
理科	・・・	東京書籍「新編 新しい科学」
音楽（一般）	・・・	教育芸術社「中学生の音楽」
音楽（器楽）	・・・	教育芸術社「中学生の器楽」
特別の教科 道徳	・・・	あかつき教育図書「中学生の道徳」
保健体育	・・・	G a k k e n「新・中学校保健体育」
美術	・・・	光村図書出版「美術」
技術・家庭（技術分野）	・・・	開隆堂出版「技術・家庭 技術分野」
技術・家庭（家庭分野）	・・・	開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野」
外国語（英語）	・・・	光村図書出版「H e r e W e G o !」

以上のとおりを令和7年度からの中学校教科用図書の採択結果とします。よろしいでしょうか。

（採決）

以上のとおり可決（全員一致）

2 議案第42号 令和7年度使用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ＜教育長提出＞

（議案の内容と説明）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号の規定により、教育委員会で決定する必要がある。

渡辺指導主事 市立学校における教科書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律及び関連法規に即して行われます。要項には、現在使用中の小・中学校特別支援学級用教科書のうち、一般図書特別支援学校学級用については、特に支障があり、これより明らかに優れたものがある場合においては採択替えを行うことができるとあります。

各校においては、5月2日から6月7日までの間、来年度の一般図書について調査研究を実施し、6月14日までに調査研究報告書を提出していただきました。7月2日に開催した教科用図書選定資料作成委員会では、その報告書を基に各校からの説明を行いました。この後、選定資料作成委員会から報告します。

御審議のほど、よろしく申し上げます。

（選定資料作成委員会委員長からの説明）

選定資料作成委員会委員長 報告します。知的障害特別支援学級が設置されている第二小学校、第四小学校、第七小学校、第二中学校、第三中学校では、令和7年度に使用する教

科用図書、いわゆる一般図書の選定資料を作成しました。その報告です。

各設置小・中学校とも、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容のものを踏まえ、選定資料をまとめました。また、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書であることや、上の学年で使用する教科用図書との関連性も考慮しています。この結果がお手元の報告書に示されているとおりです。なお、各学校の報告書の備考欄に丸印がつけられていますが、これは令和7年度から新たに加えたものを示しています。また、この資料には一般図書以外に、文部科学省の検定済み教科用図書も記載しています。

以上の内容を勘案し、設置小・中学校での令和7年度に使用する教科用図書の選定資料については全て適当であると判断しましたので、採択について御審議のほど、お願いします。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理人 以前に検定済み教科用図書を使用している学校については、それぞれの学校で、例えばプリントなどの資料を先生方が作成して、補足的に用いられていると伺いました。それぞれの児童・生徒に合わせての工夫であると思いますので、そのような御尽力に感謝申し上げたいと思います。そのような資料は、先生方の研修などにおいて、市内の各学校で共有されているのでしょうか、それともその学校でのみ、そのときの児童・生徒だけということでしょうか。

調査研究委員会委員長（特別支援） 学校で独自につくるものもありますが、教材等の共有は学校間の交流もあり、インターネット等でも情報がありますので、そのようなところから情報を得て活用しています。

大木教育長職務代理人 ありがとうございます。今回新しく提案されているものを含めて、今回の図書採択資料については全く異論ありません。

私のお願いとしては、今、回答いただいたように、市内でそれぞれの学校や、その児童・生徒だけの単発で終わるのではなく、学校間でも共有していただきたいということです。それによって他校の先生方が一から新しく作らなくてもよい場合もあると思いますし、先生方の働き方改革にもつながります。さらにこれを基にして、よりそれぞれの児童・生徒に適切な資料や教材を提示できると思いますので、引き続き、そのような取組を進めていただければと思います。

教育長 市の教育研究会などでも教材研究をともに行っていますので、より一層、共有化を図るようお願いしたいと思います。

(採決)

原案どおり可決（全員一致）

〔その他〕

なし

〔閉会〕

午後0時55分、教育長は閉会を宣言した。

署名委員 2 番 藤井 健志

 3 番 武内 彰

調製職員 廣瀬 喜朗